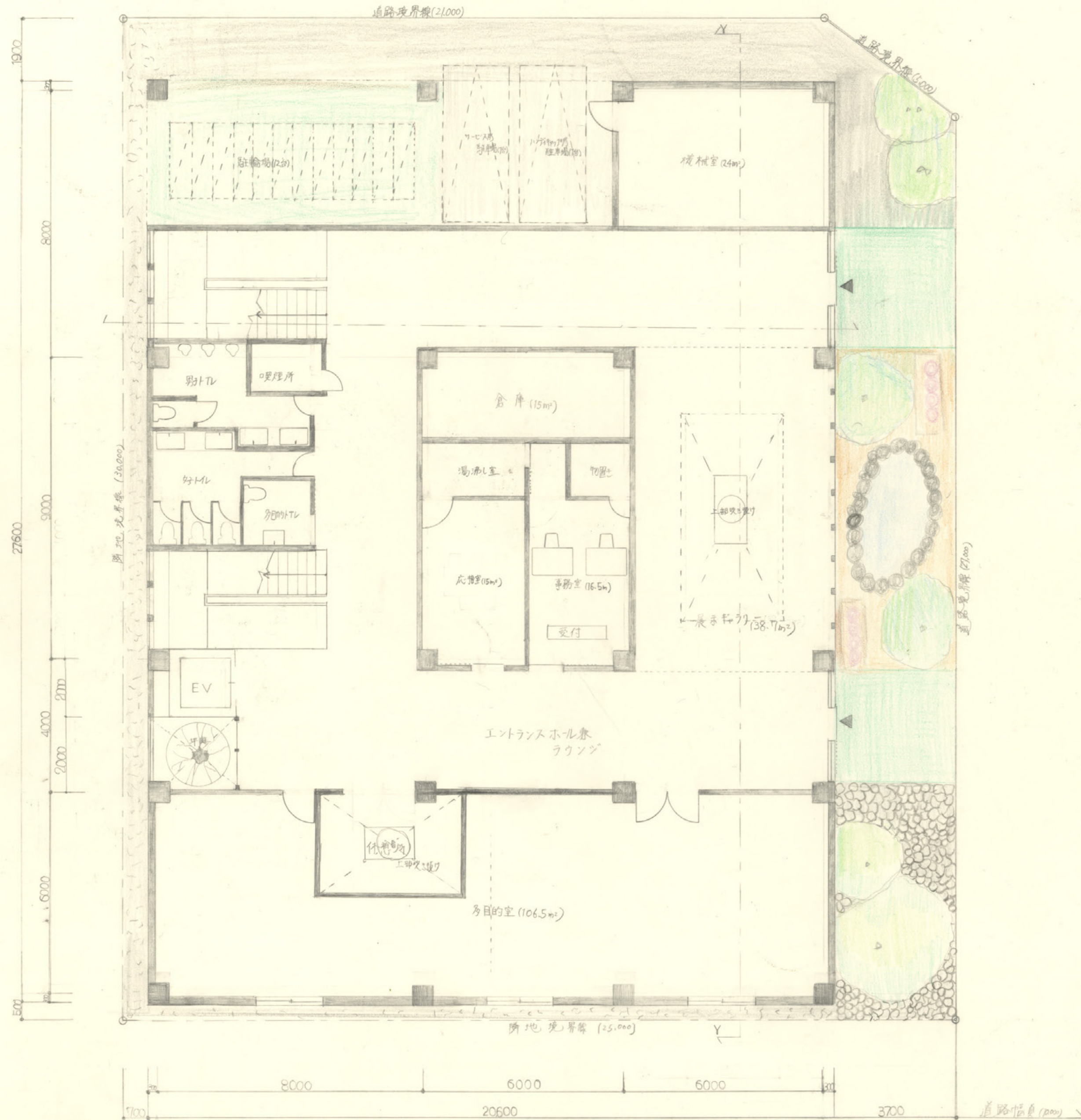


馴染み～廻～



コンセプト

歴史ある街で、周辺にはたくさんの和モダンな設計が並んでいる。
昔からあるものに新しいものが寄り添うとコンセプトに、洋風な外観から廻る動線の設計をしました。
1階の展示コーナーは中庭外空間とし、果物の木を植え、ここからでも楽しみながら外観との繋がりで、一体感と表現しました。
2階のアトリウムでは、奈良産の果物を使用し、ジャム作りの体験ができるようにし、同フロアのカフェで、体験したものを多く楽しめるようにしました。また、カフェは一般の人にも利用しやすいよう広く設けました。
1階から繋がる果物の木や五重の塔、奈良公園白と緑の景色と楽しめるよう、2階に入ると窓やドアを設けました。
歴史ある町で新しい発見、違う景色が楽しめる施設としました。

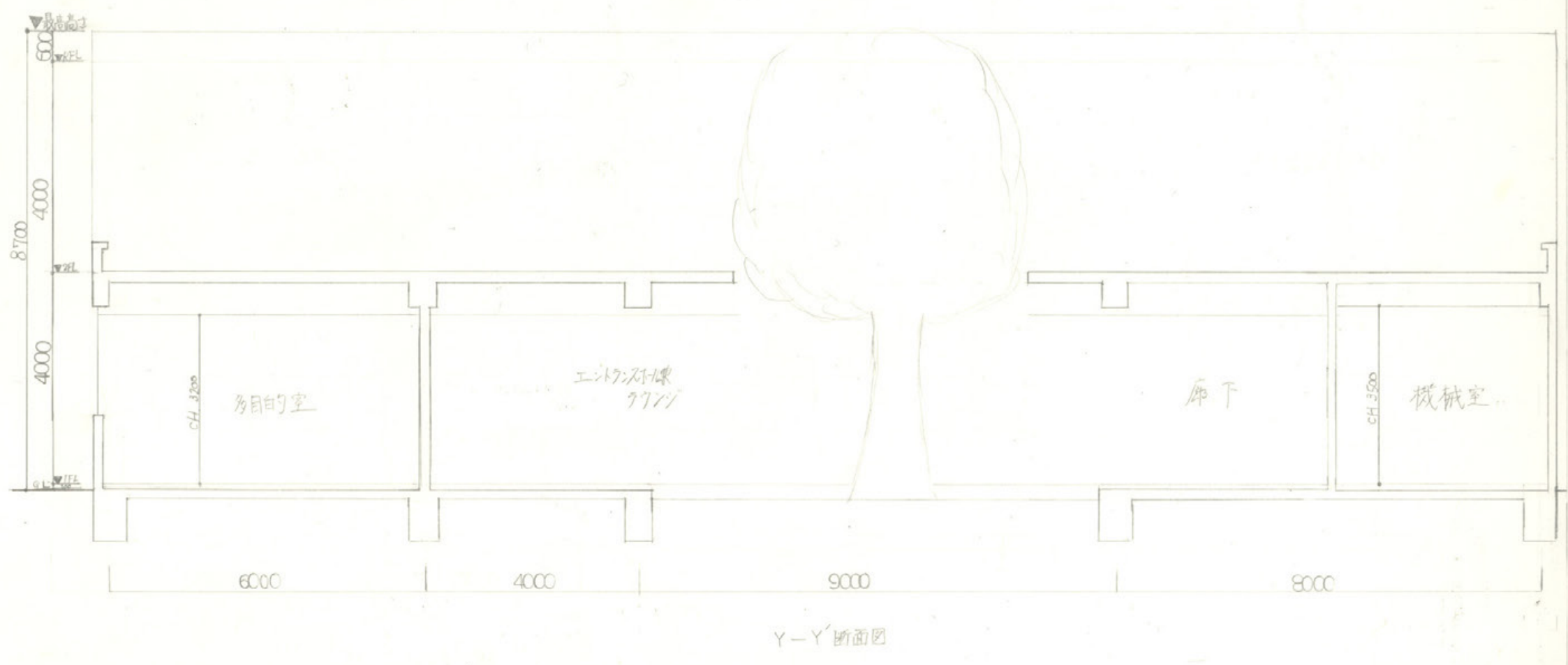
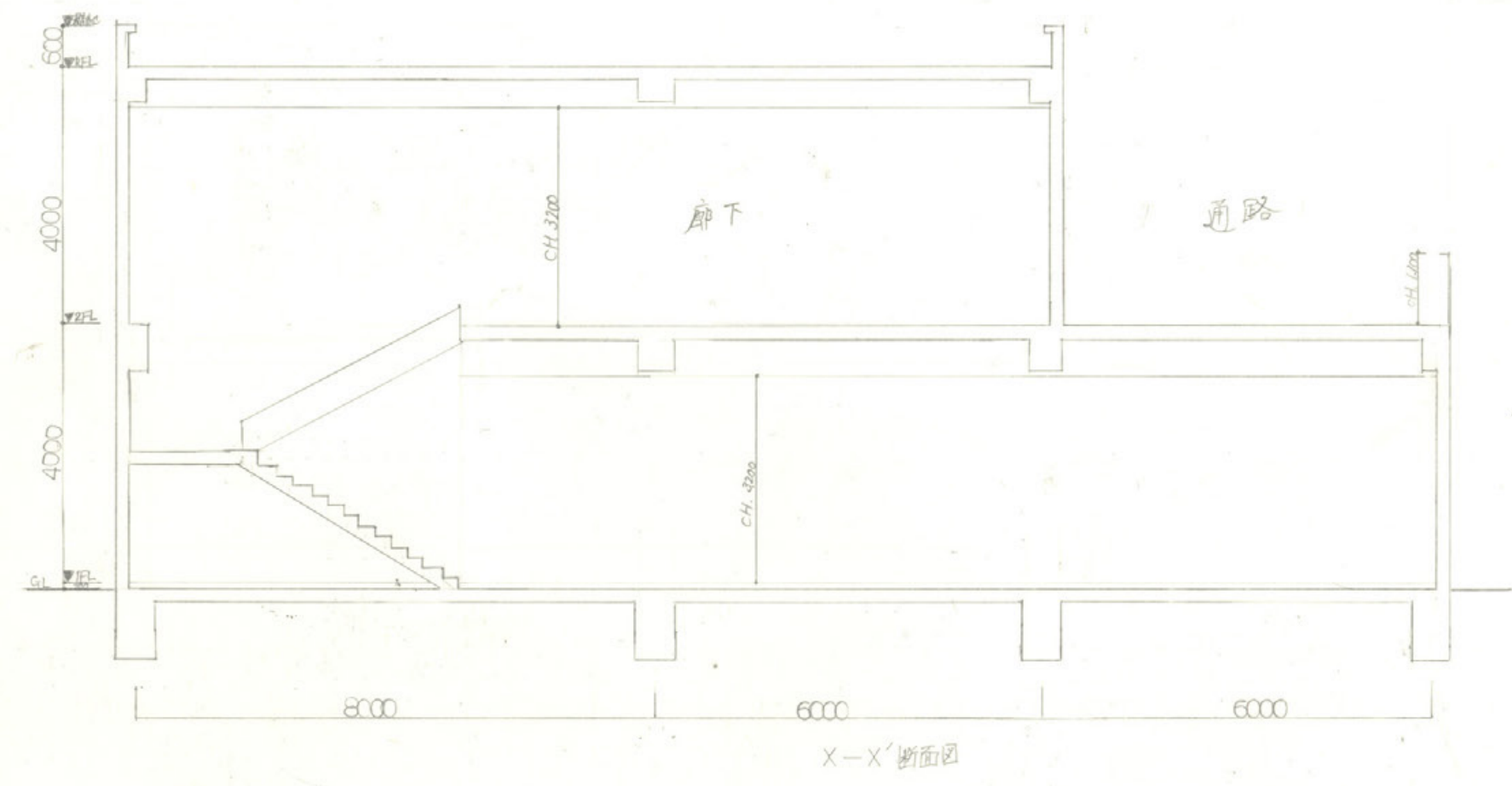
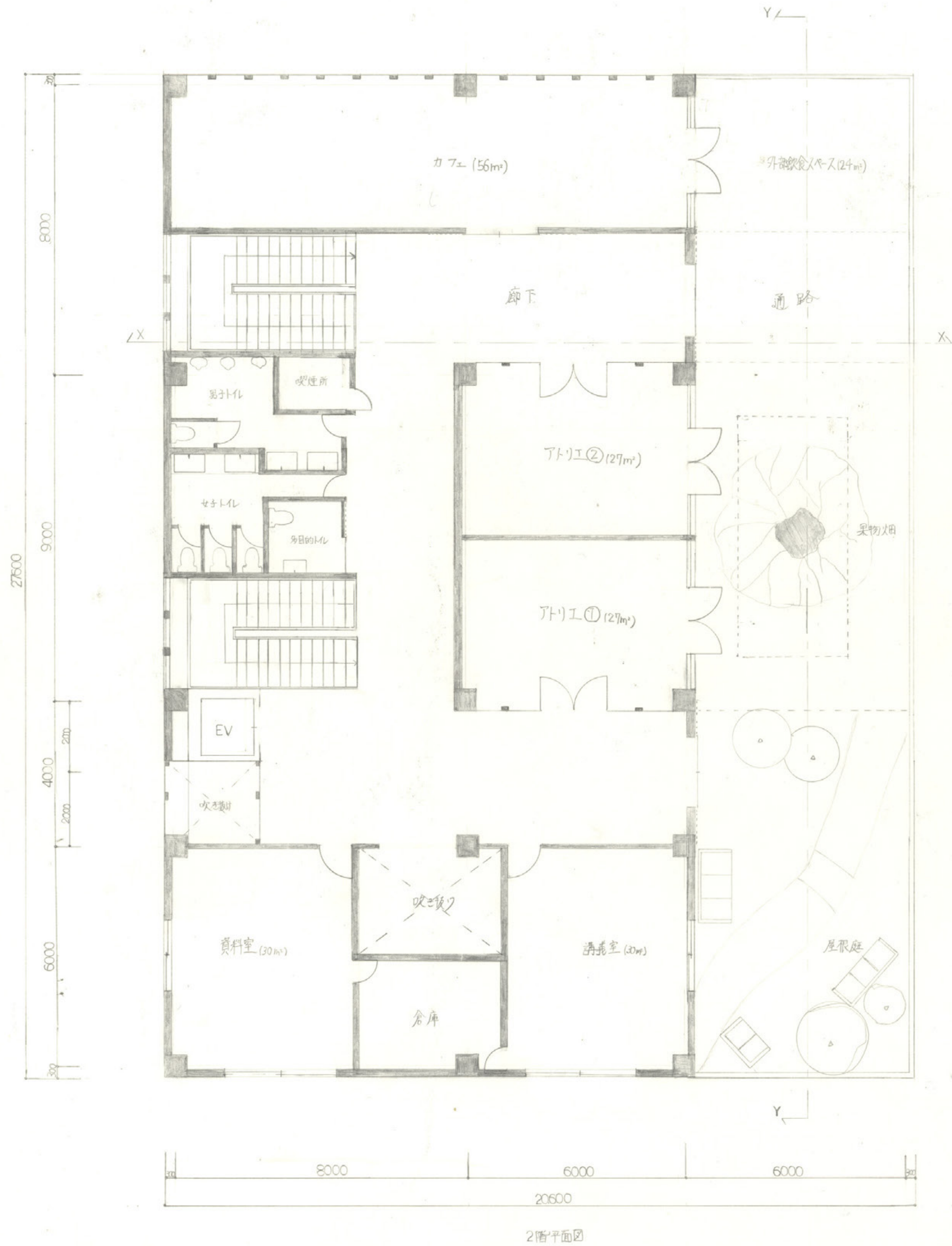
面積表

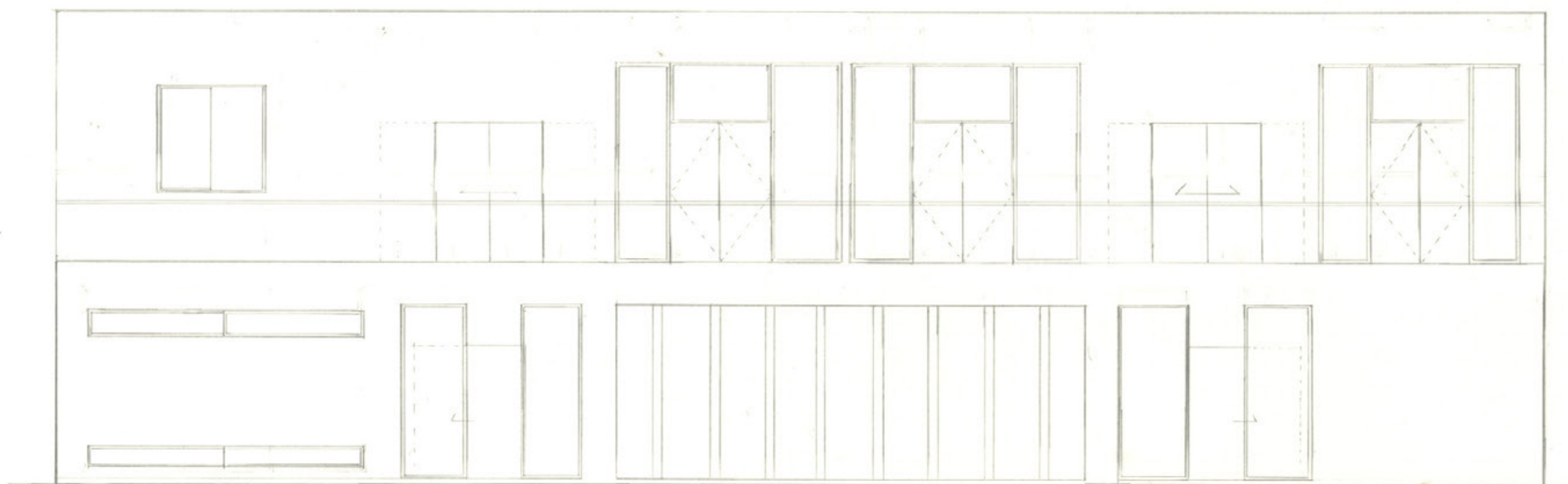
1階	20.6x27.6 - (7x6.3 + 2x2.5 + 4.3x4.3) = 445.37m ²
2階	20.6x27.6 - (2x2.5 + 4.5x3 + 6.3x2.6) = 376.18m ²
延床面積	821.55m ²
建築面積	445.37m ²
敷地面積	744m ²

仕上表

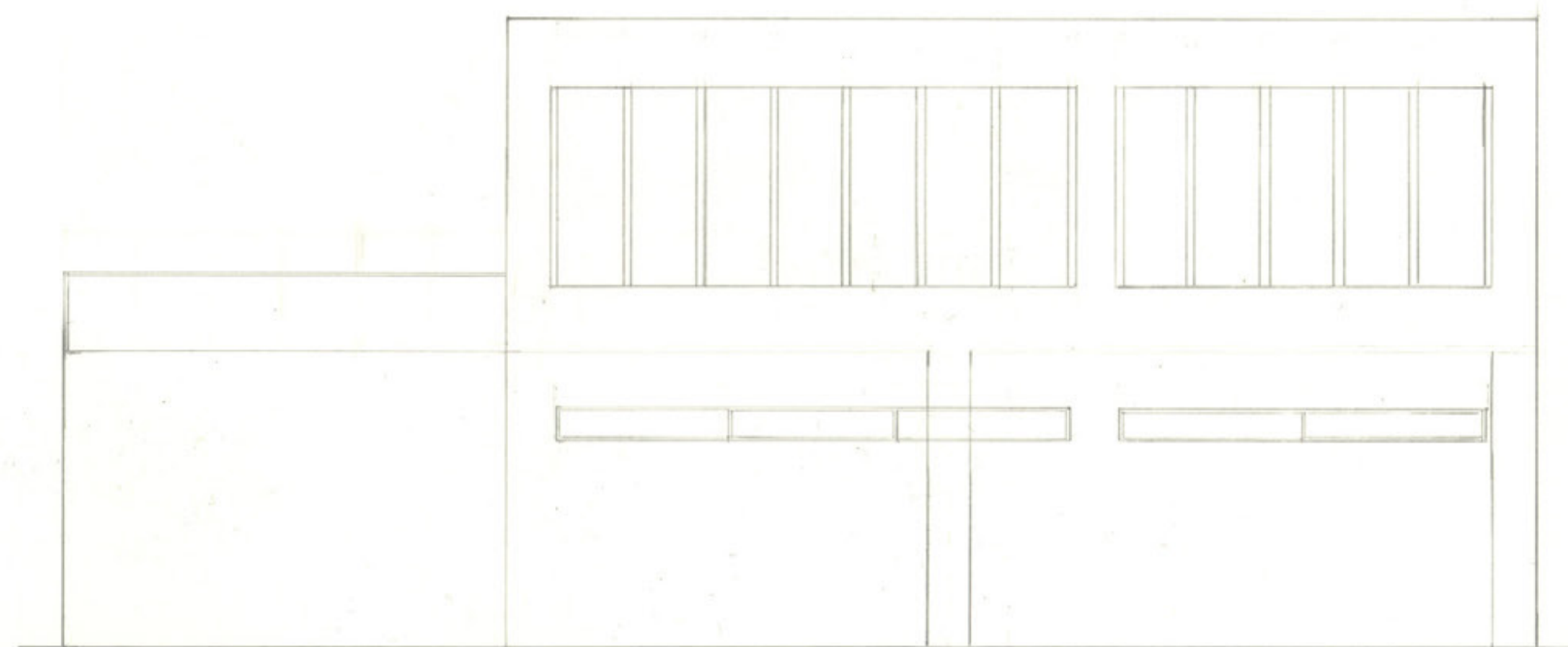
外部	屋根	シート防水		
	外壁	押し出し成形セメント貼リ		
	外構	アスファルト舗装 / 芝生		
内部		天井	壁	床
	1階			
	ラウンジ	パズルパネル	ストーンパネル	防滑性ビニル床シート
	多目的ホール	スチールパー 人工木材	ウルドパネル	フロアマット
	2階			
アトリウム	レットンター	抗ウレタス化粧板	フロアリング	
カフェ	パズルパネル	高圧メラミン化粧板	フロアリング	



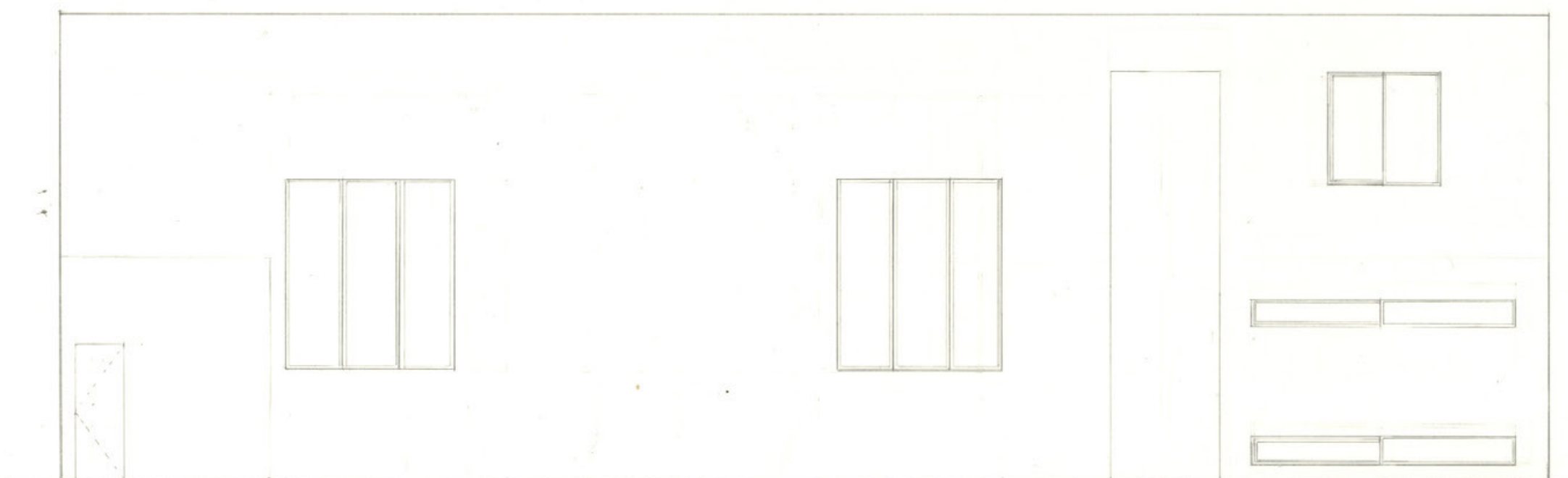




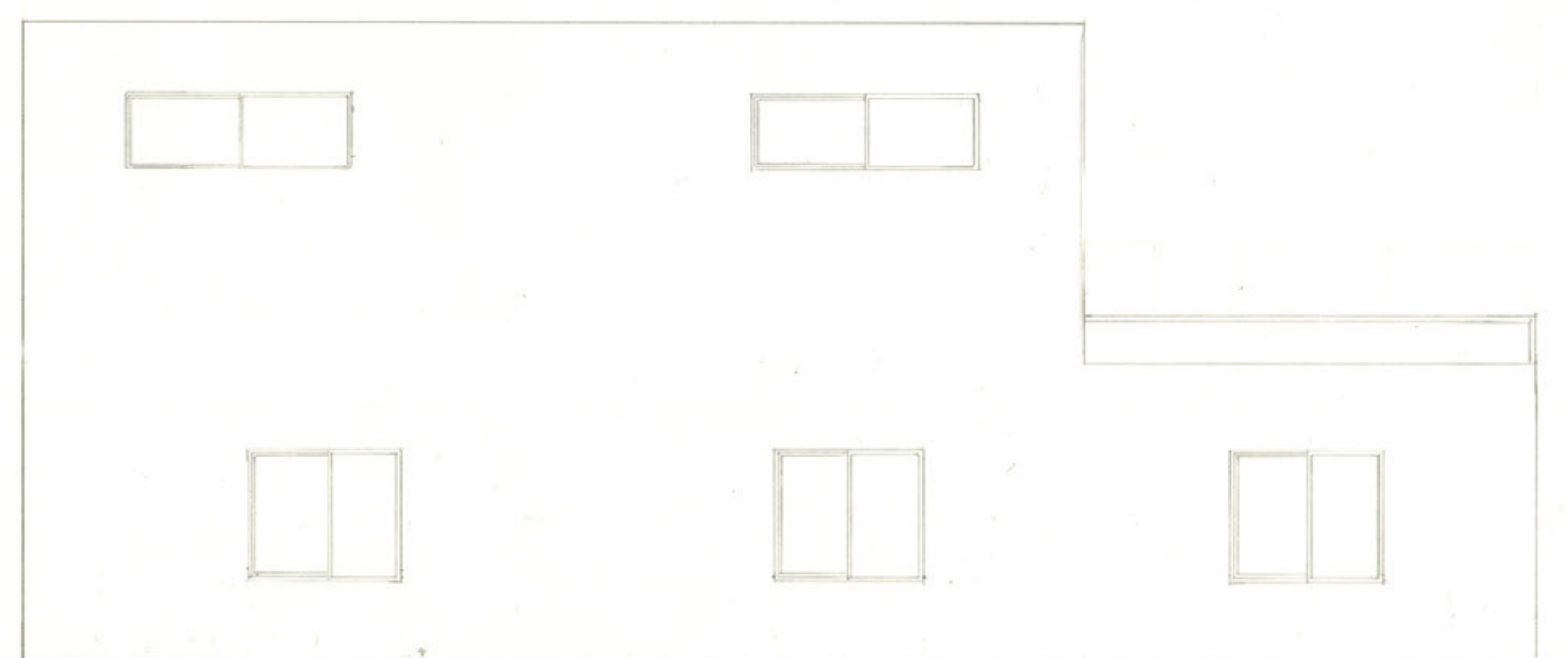
東立面图



北立面图

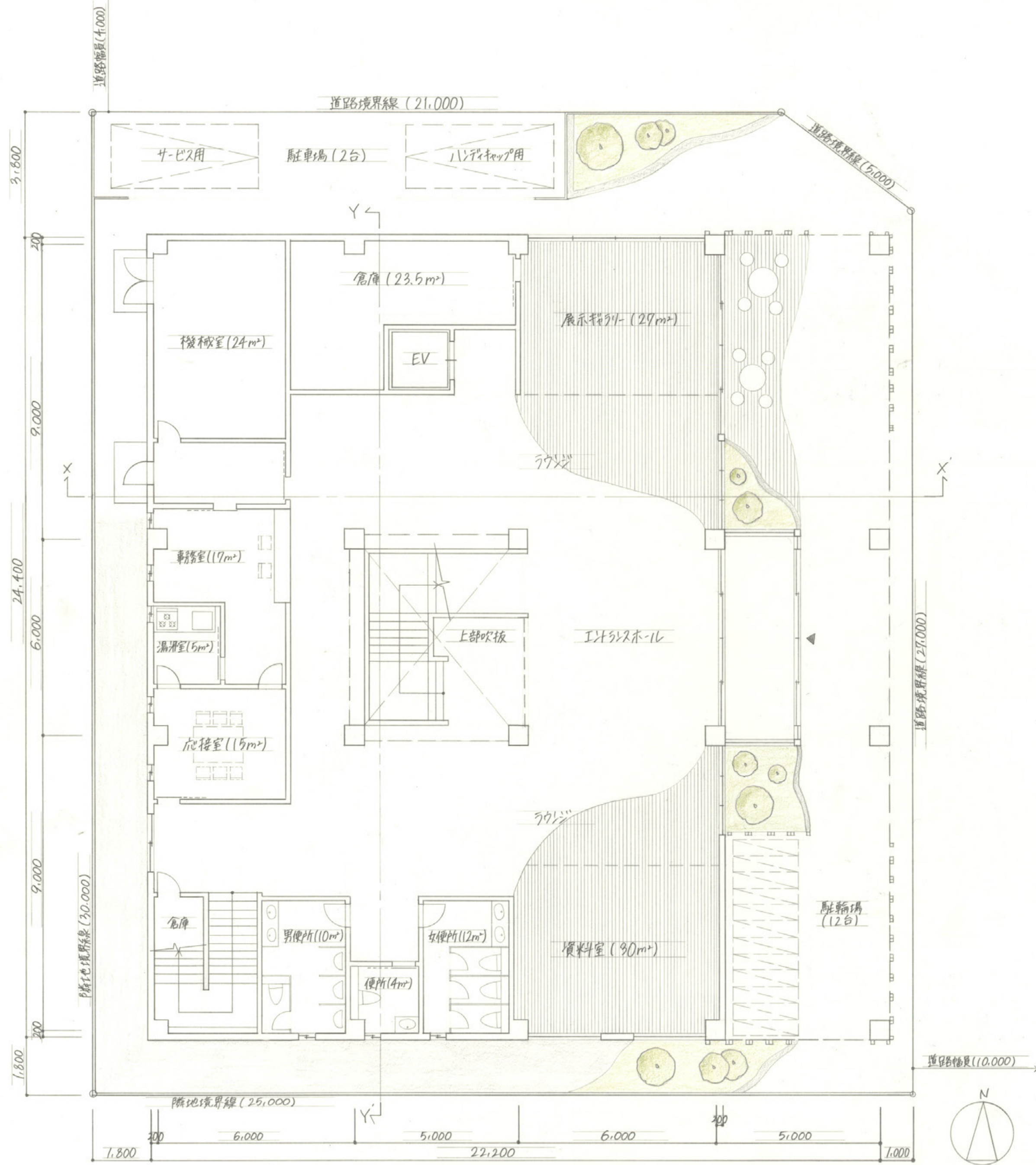


西立面图



南立面图

木のぬくもり



1階平面図兼西配置図 (S=1/100)

コンセプト

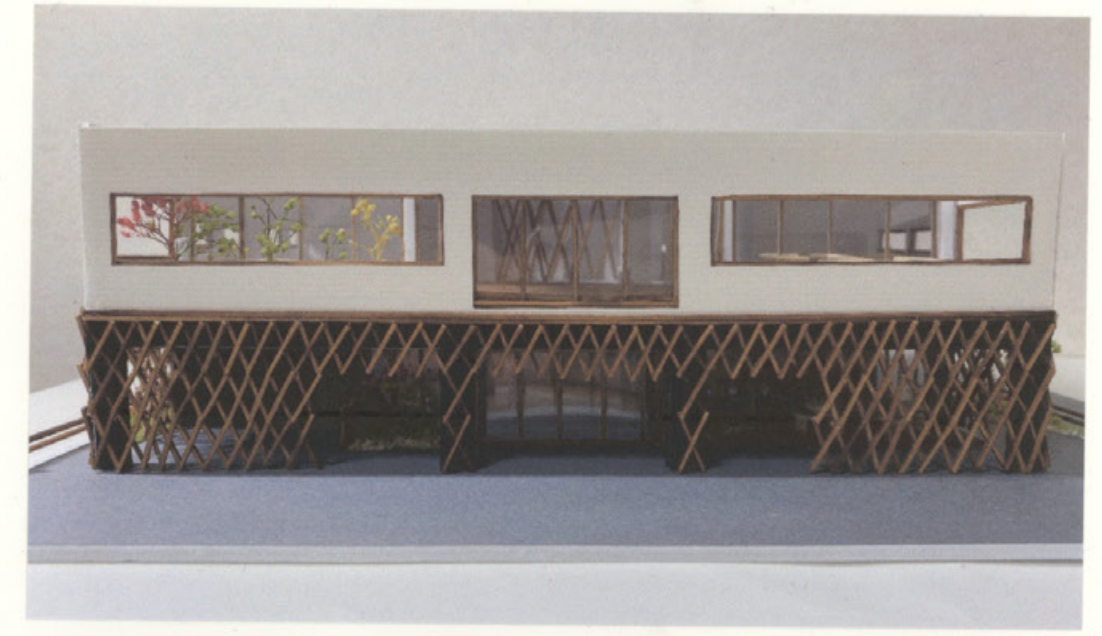
奈良県の吉野杉を使った箸作りを体験しながら、奈良県の木材や日本の箸文化についても知ってもらえるきっかけとなる建物づくりを目指しました。木を体で感じてもらうように、外装には吉野杉の格子を取り付け、それを目で見てもらい、内装ではフローリングの匂いを感じ、実際に箸作りをしながら杉に触れてもらうという吉野杉の特徴を生かし、“木のぬくもり”を感じてもらえる設計にしました。アトリエで箸作りをした後、カフェで作った箸を使ってもらったり、テラスへ出て奈良県の町や五重塔を眺めたり、奈良県の文化も知り知ってもらえる空間を設けました。

仕上げ表

内部	床	壁	天井
エントランスホール	モルタル金ゴテ仕上げ	EP塗装	EP塗装
展示ギャラリー	吉野杉フローリング	吉野杉	吉野杉(無節)がり仕上げ
多目的ホール	モルタル金ゴテ仕上げ	EP塗装	EP塗装
カフェ	吉野杉フローリング	吉野杉	吉野杉(無節)がり仕上げ
外部	外壁	屋根	化粧材
	漆喰	アスファルト防水	吉野杉

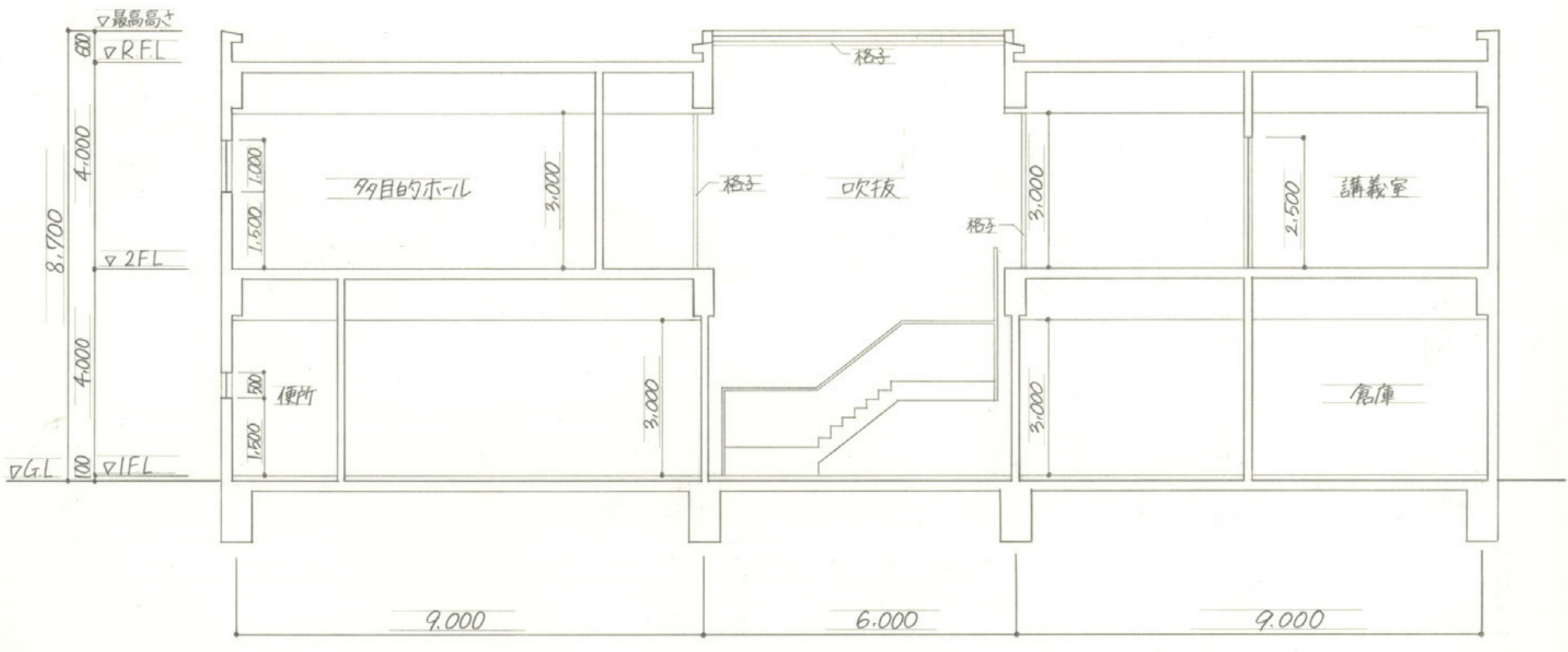
面積表

1階: 423.0(m²)	2階: 408.0(m²)	延床面積: 831.0(m²)	建築面積: 423.0(m²)	敷地面積: 944.0(m²)
---------------	---------------	-----------------	-----------------	-----------------

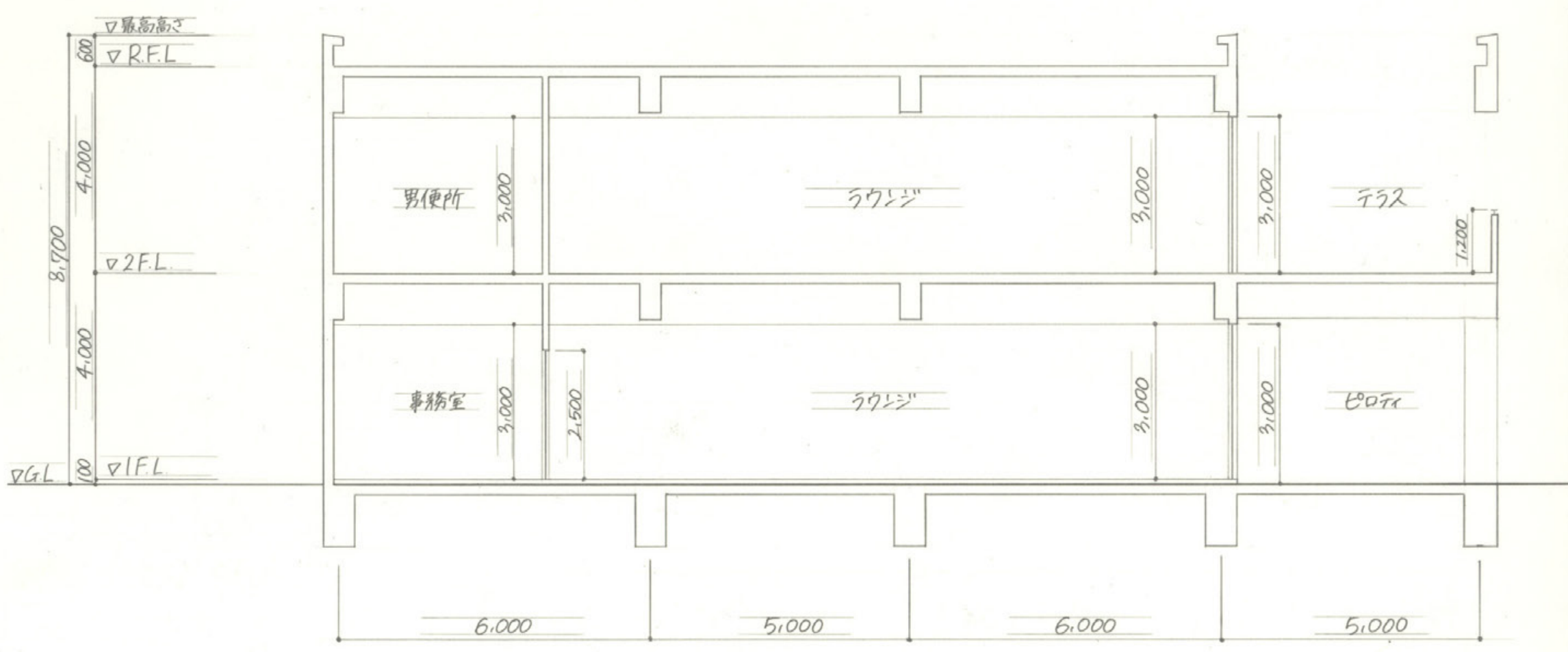




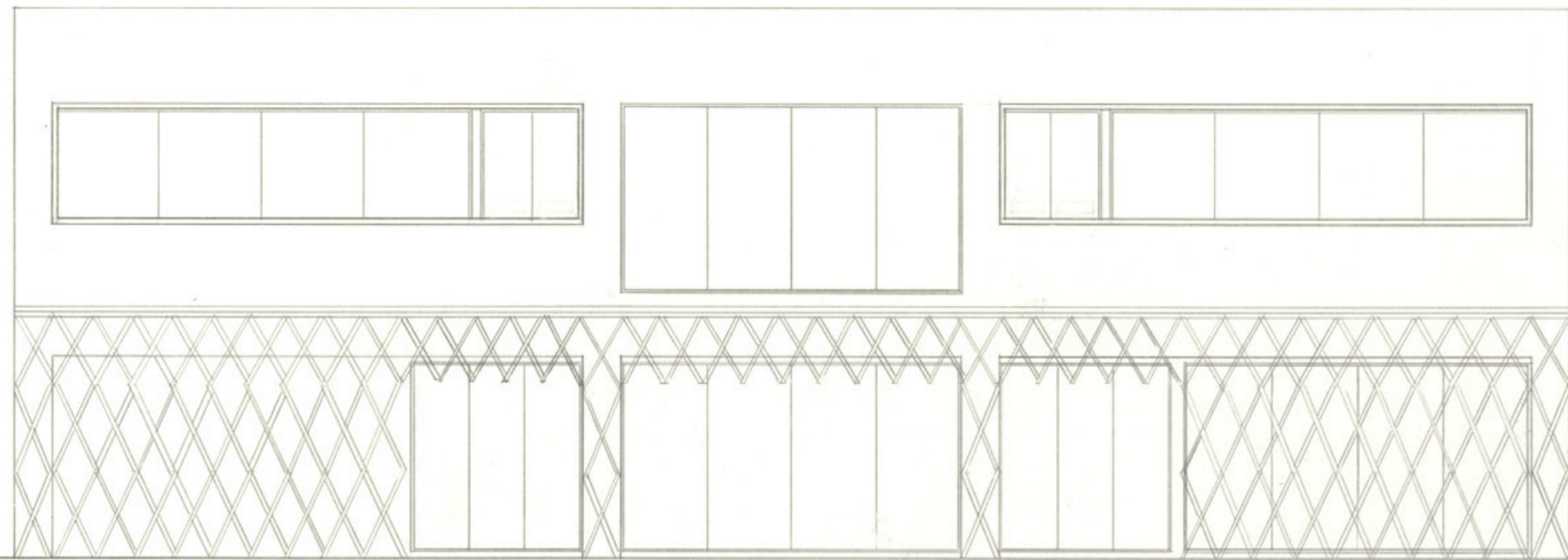
2階平面図 (S=1/100)



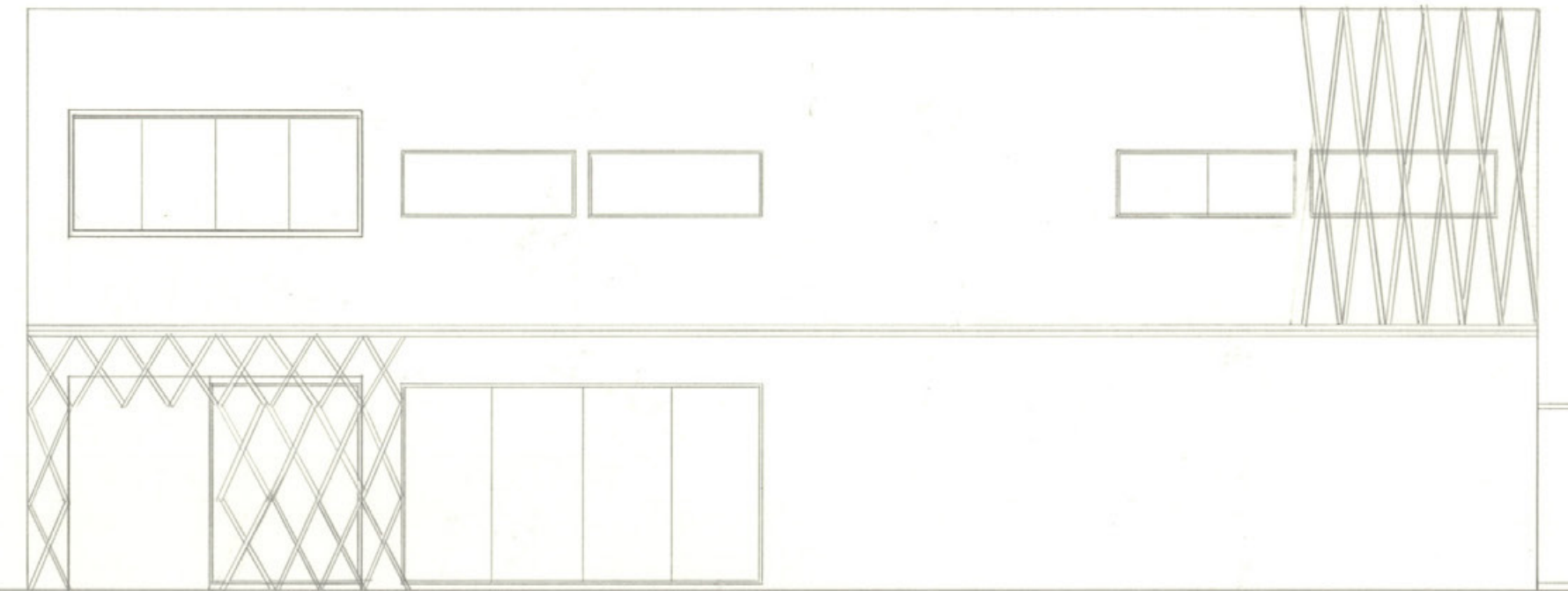
Y-Y'断面図 (S=1/100)



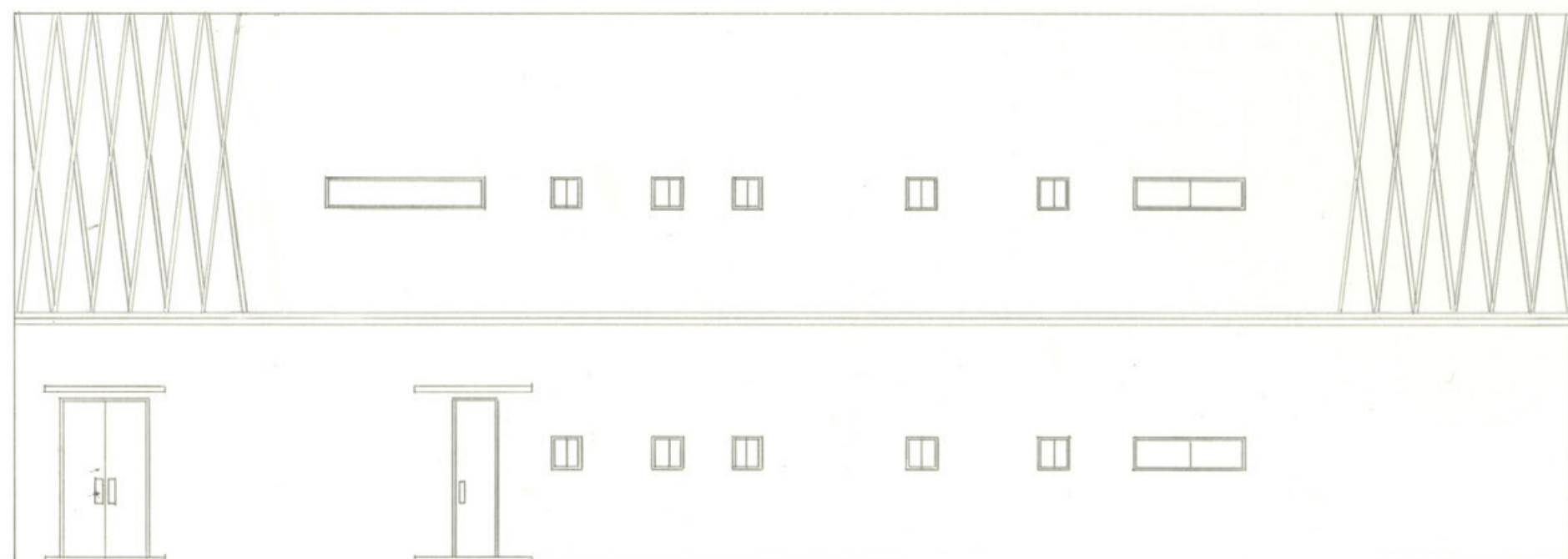
X-X'断面図 (S=1/100)



東立面図 (S=1/100)



北立面図 (S=1/100)



西立面図 (S=1/100)



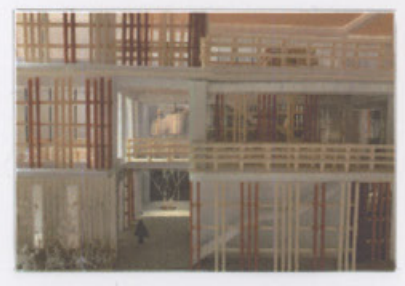
南立面図 (S=1/100)

扇動する木

コンセプト
 私は吉野杉・吉野杉の文化や木材としての魅力を全身で感じることでできる文化学習(体験型)複合施設を提案する。
 現在、吉野林業は様々な問題を抱えており、それらの問題全てに共通する原因が森林資源が充実期を迎えていることによる、木材面の大幅な下落である。私は多くの人が吉野杉・吉野杉の魅力を知らず、様々な形で購入・利用してもらおうとして、人々は木材に「扇動」され、木材需要の増進による吉野林業の再興、人々のサスティナビリティに対する意識の向上などの明るい未来を創出することができるのではないかと考えた。
 建物外部からウッドデッキへ直接アクセスできる階段を設けたり、建物の所々に人が寛げる空間を設けたりして、人々に関わる建築を実現することにも、体験学習をすることが目的ではない人々にとって、施設全体が憩いの場となるようにした。
 部分的に機能的なデザインとして吉野杉・吉野杉両方を使用した木出格子を取り入れ、施設の奈良町との親和性向上、建物の機能性向上を図る。

仕上表			
外部仕上	外壁	コンクリート打ち放し+保護クリア塗料塗布 一部吉野杉・吉野杉 桤木板材(心材)+木材保護塗料	
	屋根	アスファルト防水押えコンクリート仕上	
	開口部	アルミサッシ Low-E 複層ガラス(クリア)	
	木出格子	無垢吉野杉・無垢吉野杉(心材)+木材保護塗料	
内部仕上	1階	壁	コンクリート打ち放し+保護クリア塗料塗布 無垢吉野杉・無垢吉野杉縁甲板+オイルフィニッシュ仕上
		天井	無垢吉野杉縁甲板(無節)+オイルフィニッシュ仕上
	床	モルタル全2で仕上/無垢吉野杉・無垢吉野杉縁甲板+オイルフィニッシュ仕上	
	床	(事務室、応接室):タイルカーペット	
	2階	壁	コンクリート打ち放し+保護クリア塗料塗布 無垢吉野杉・無垢吉野杉縁甲板+オイルフィニッシュ仕上
		天井	無垢吉野杉縁甲板(無節)+オイルフィニッシュ仕上
	床	モルタル全2で仕上/無垢吉野杉・無垢吉野杉縁甲板+オイルフィニッシュ仕上	
	床	(講義室):タイルカーペット	
	ウッドデッキ	無垢吉野杉縁甲板(無節)+木材保護塗料	
	3階	壁	コンクリート打ち放し+保護クリア塗料塗布 無垢吉野杉・無垢吉野杉縁甲板+オイルフィニッシュ仕上
天井		無垢吉野杉縁甲板(無節)+オイルフィニッシュ仕上	
床		モルタル全2で仕上/無垢吉野杉縁甲板+オイルフィニッシュ仕上	
床		(多目的ホール):タイルカーペット	
ウッドデッキ	無垢吉野杉縁甲板(無節)+木材保護塗料		

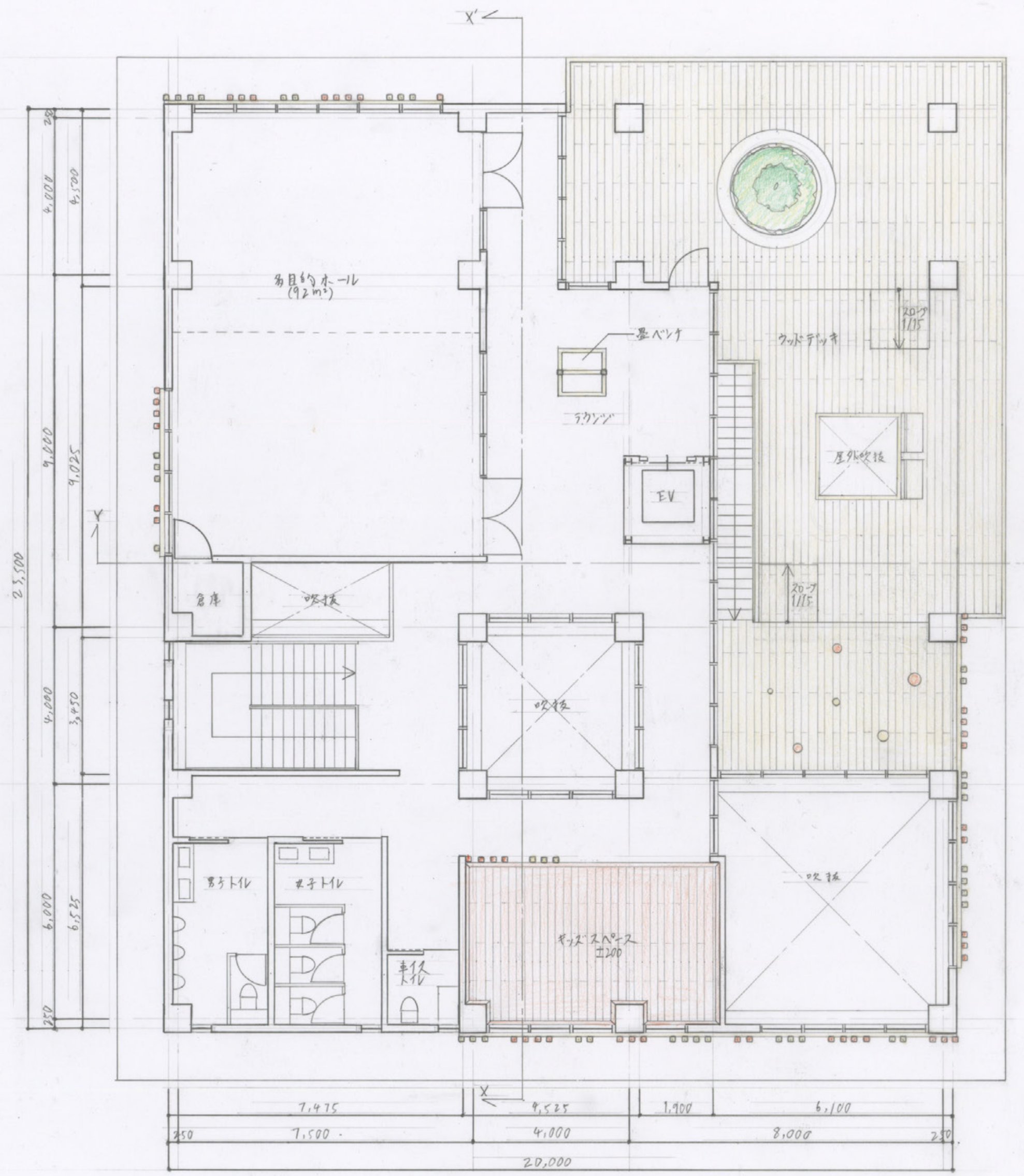
面積表		
敷地面積	744m ²	
建築面積	496.46m ²	
床面積	1階	292 m ²
	2階	279.4m ²
	3階	267.7m ²
延床面積	839.1m ²	
建ぺい率	66.73%	
容積率	112.78%	



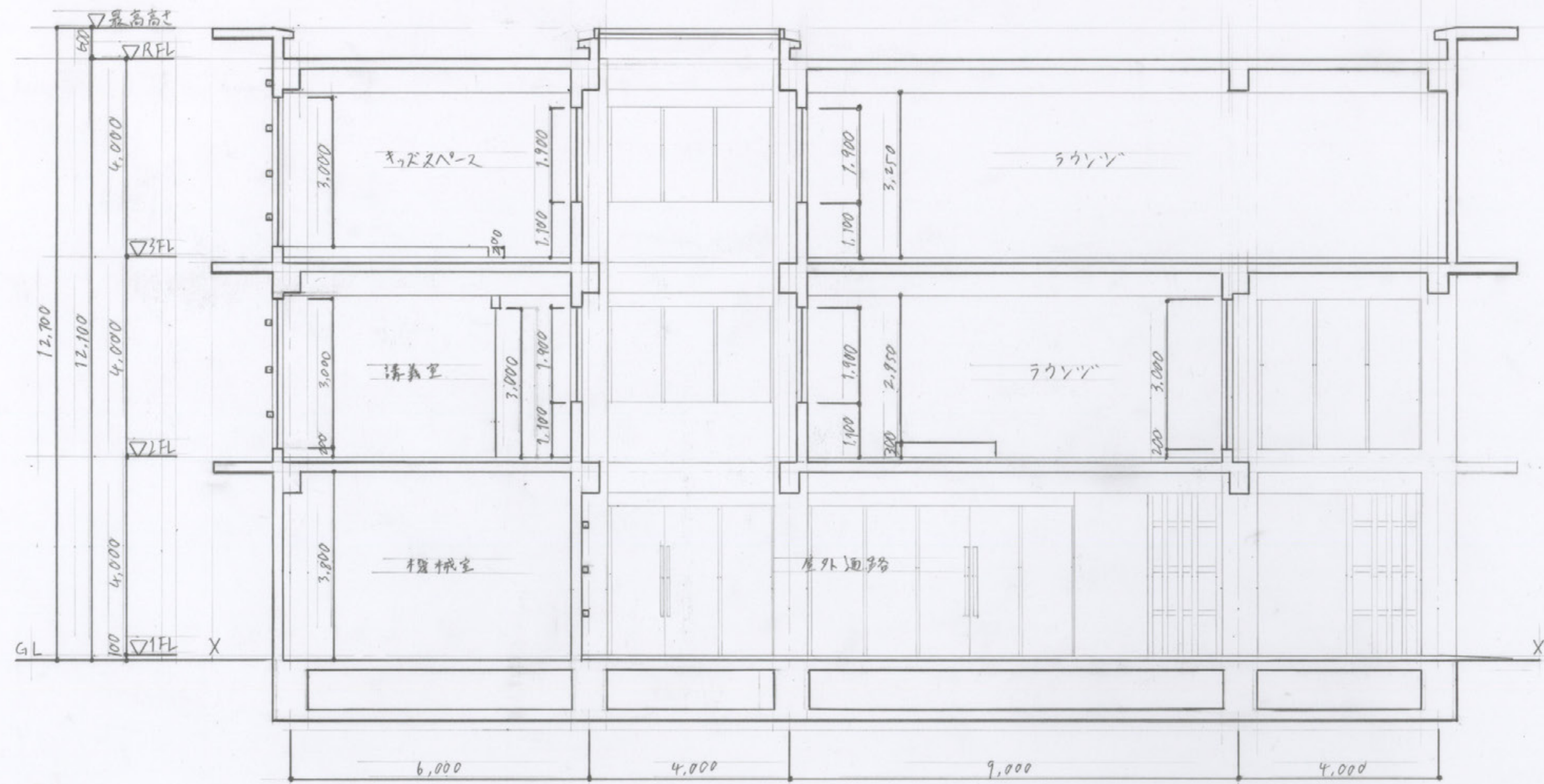
1階平面図兼配置図(S=1/100)



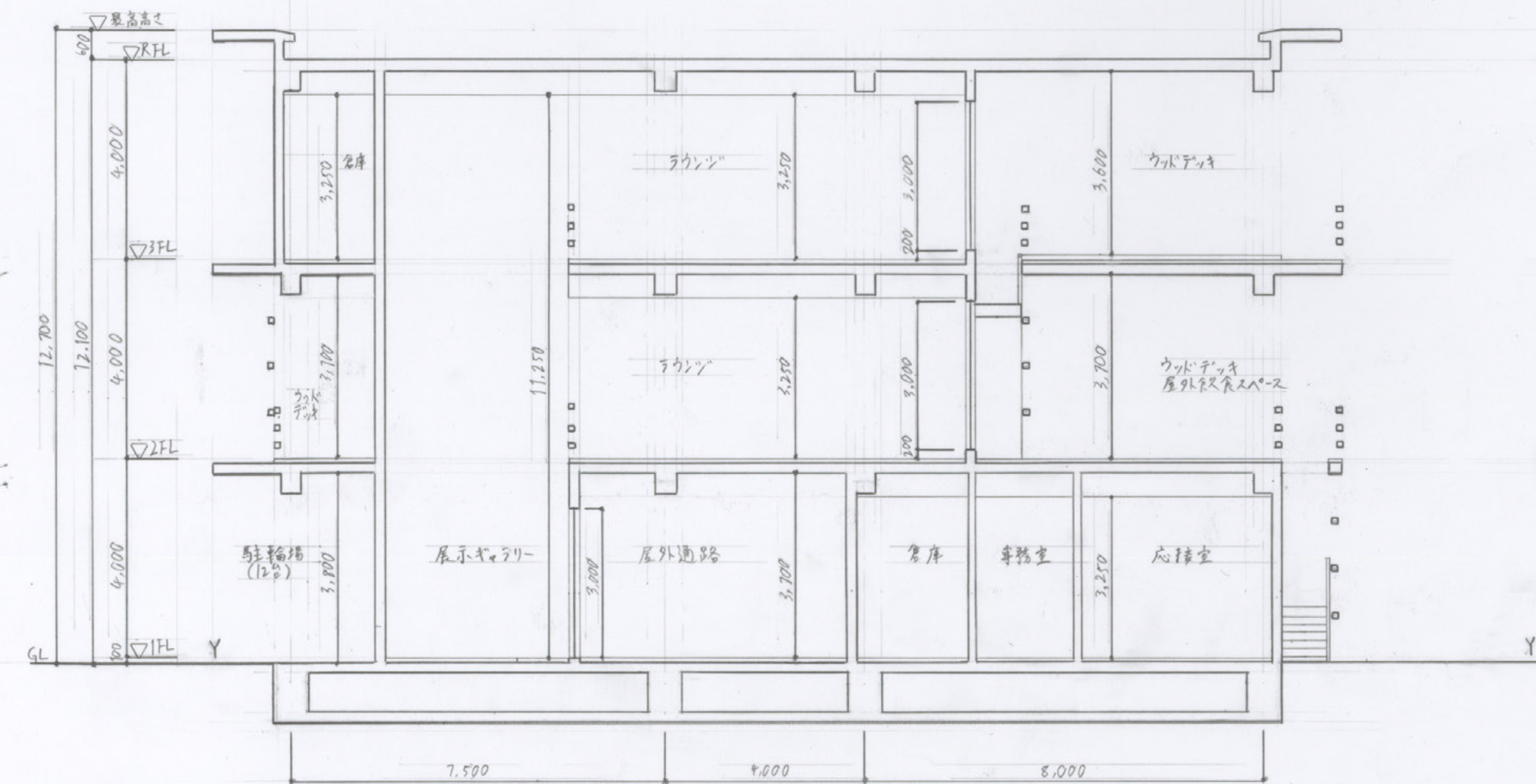
2階平面図 (S=1/100)



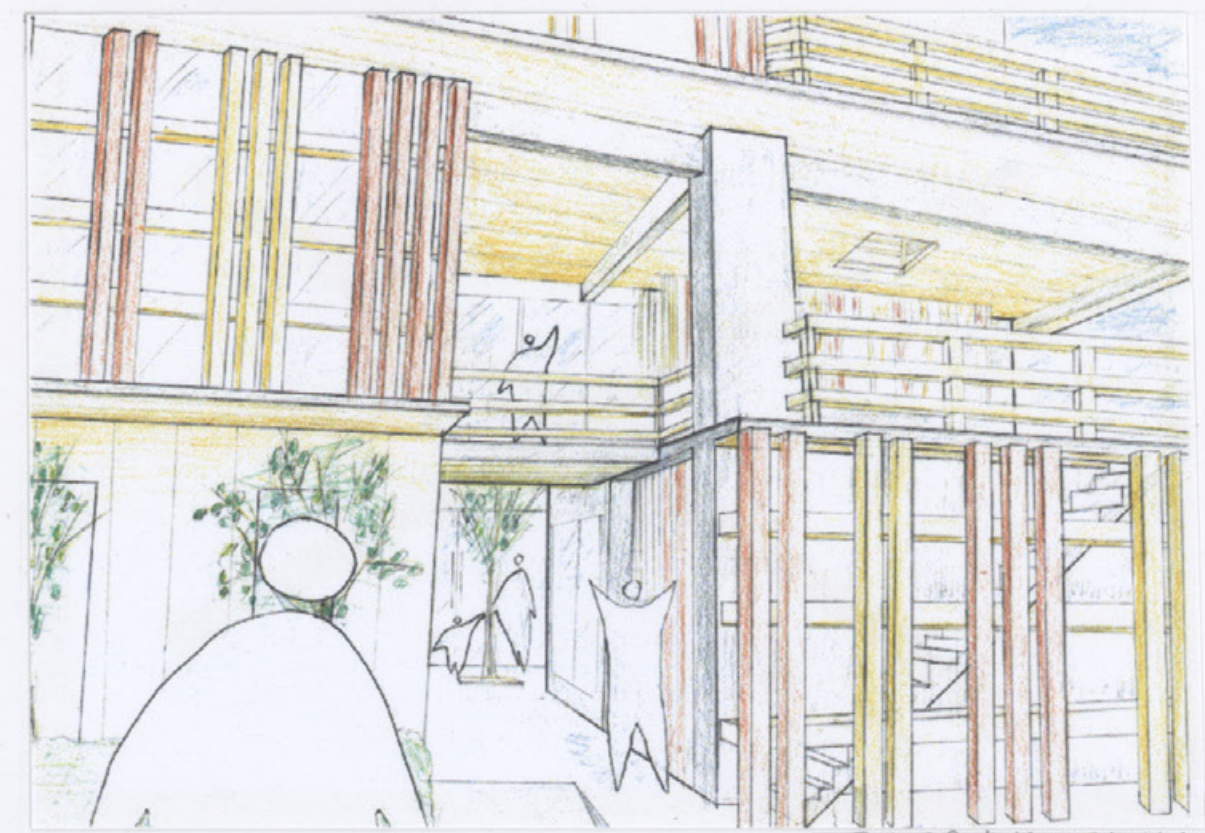
3階平面図 (S=1/100)



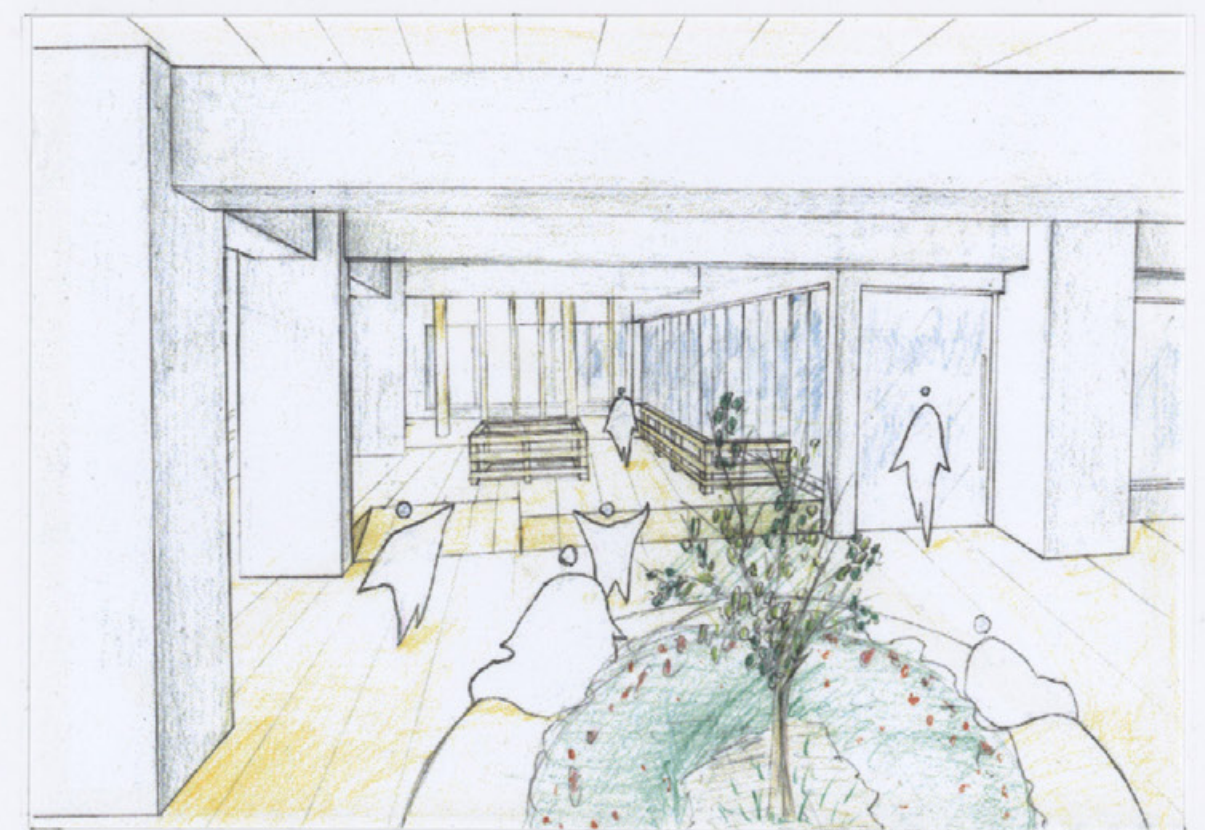
X-X'断面図(S=1/100)



Y-Y'断面図(S=1/100)



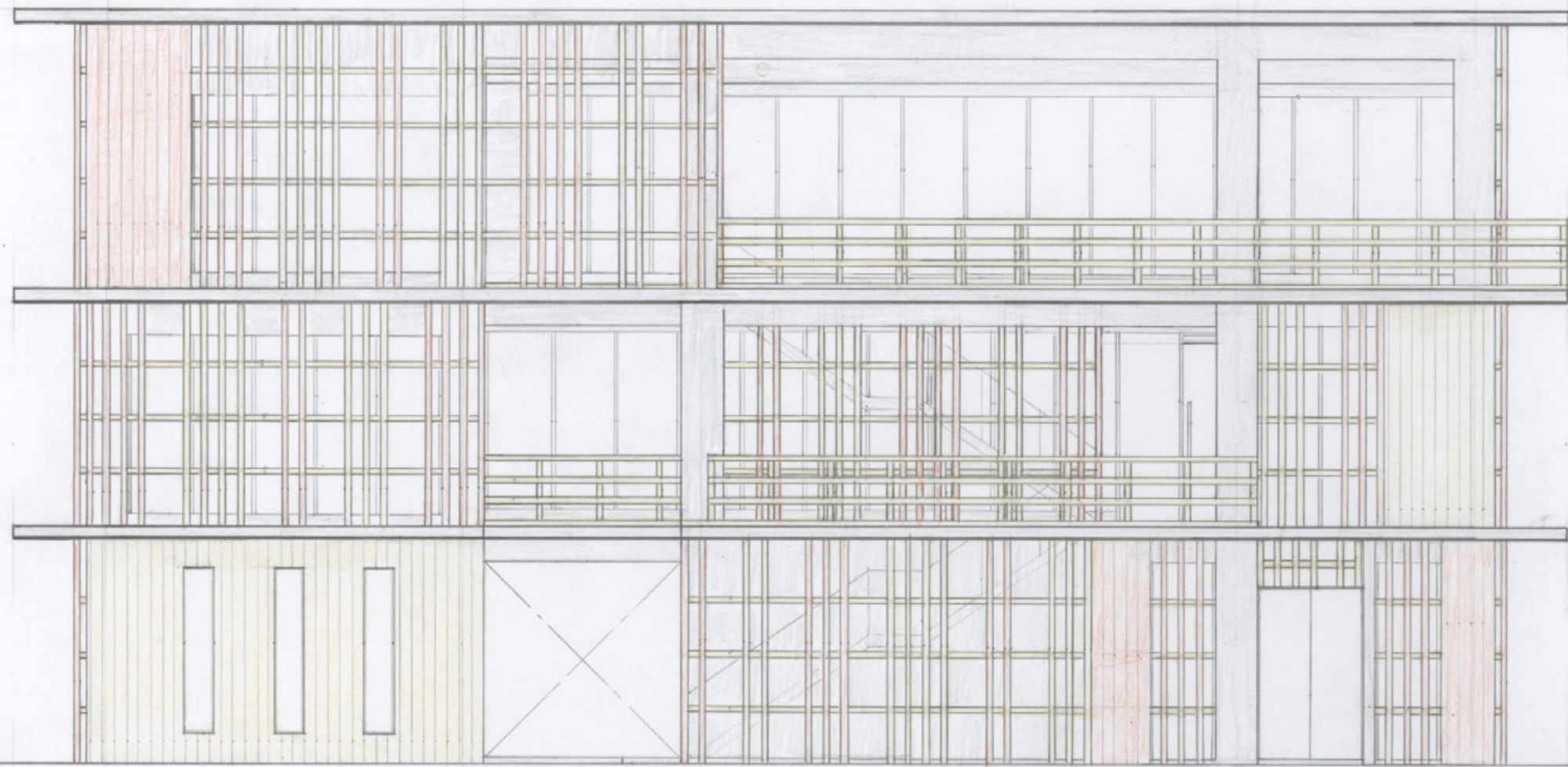
屋外通路東側入口の様子



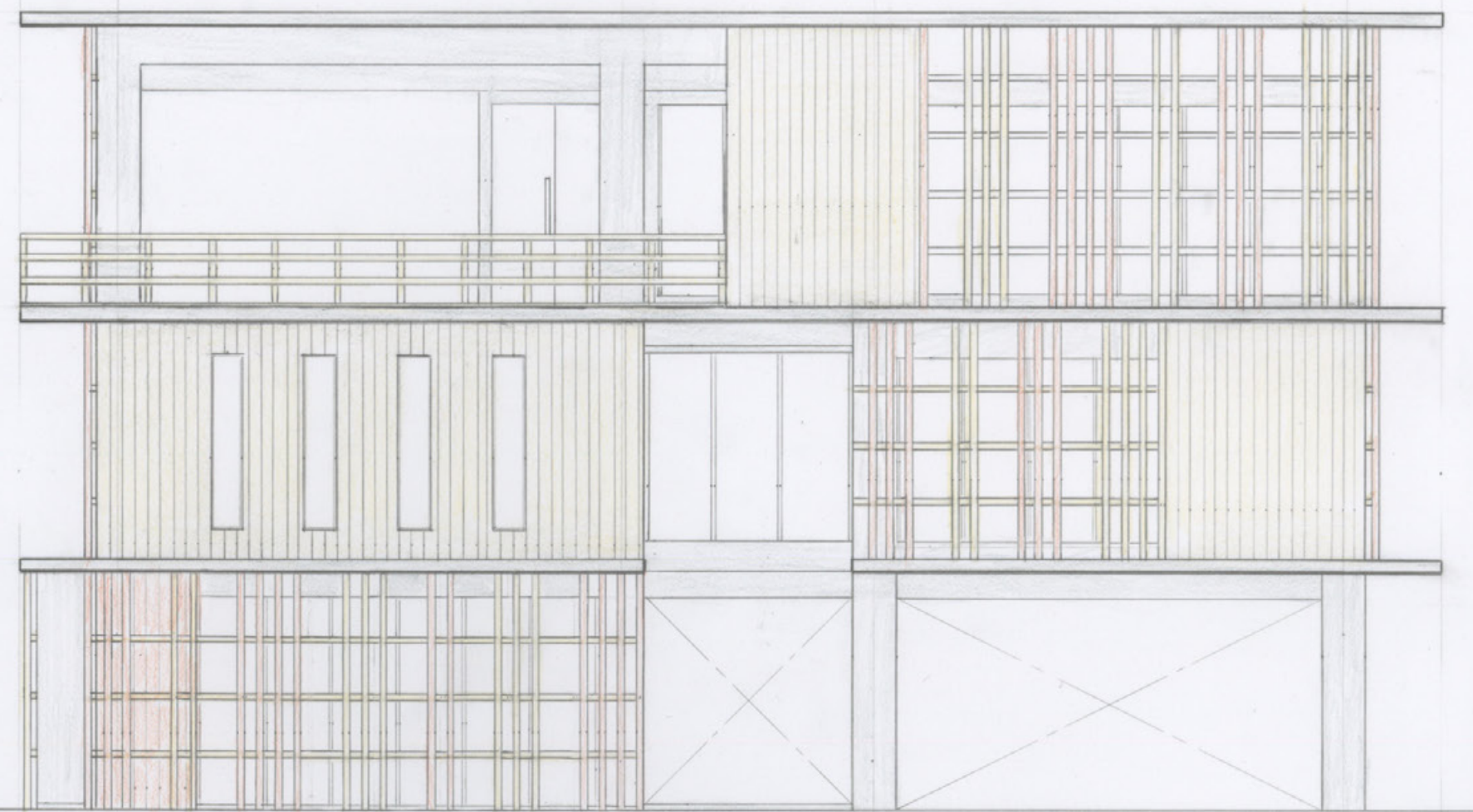
3階北西ウッドデッキの様子



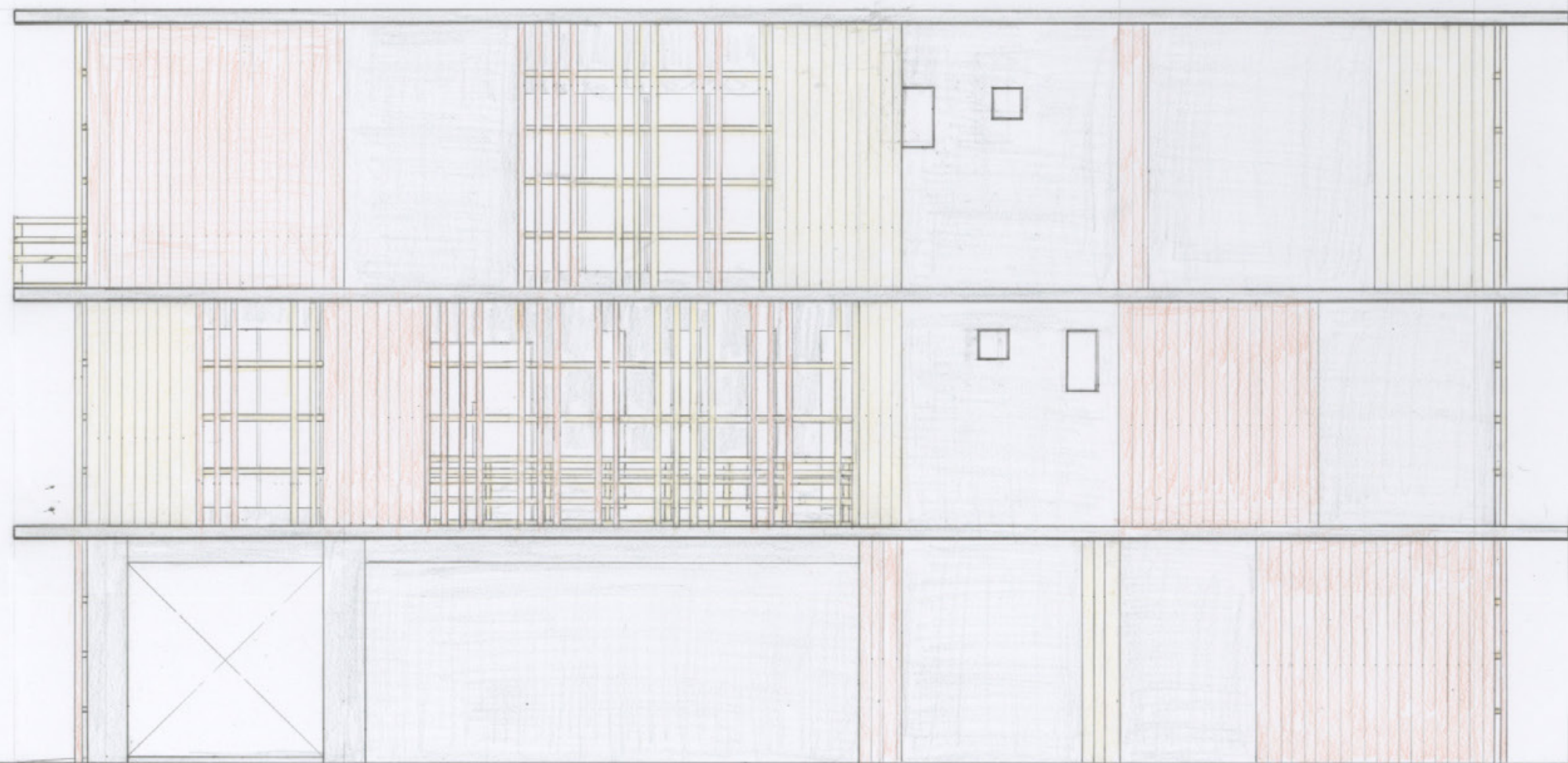
1階アトリエの様子



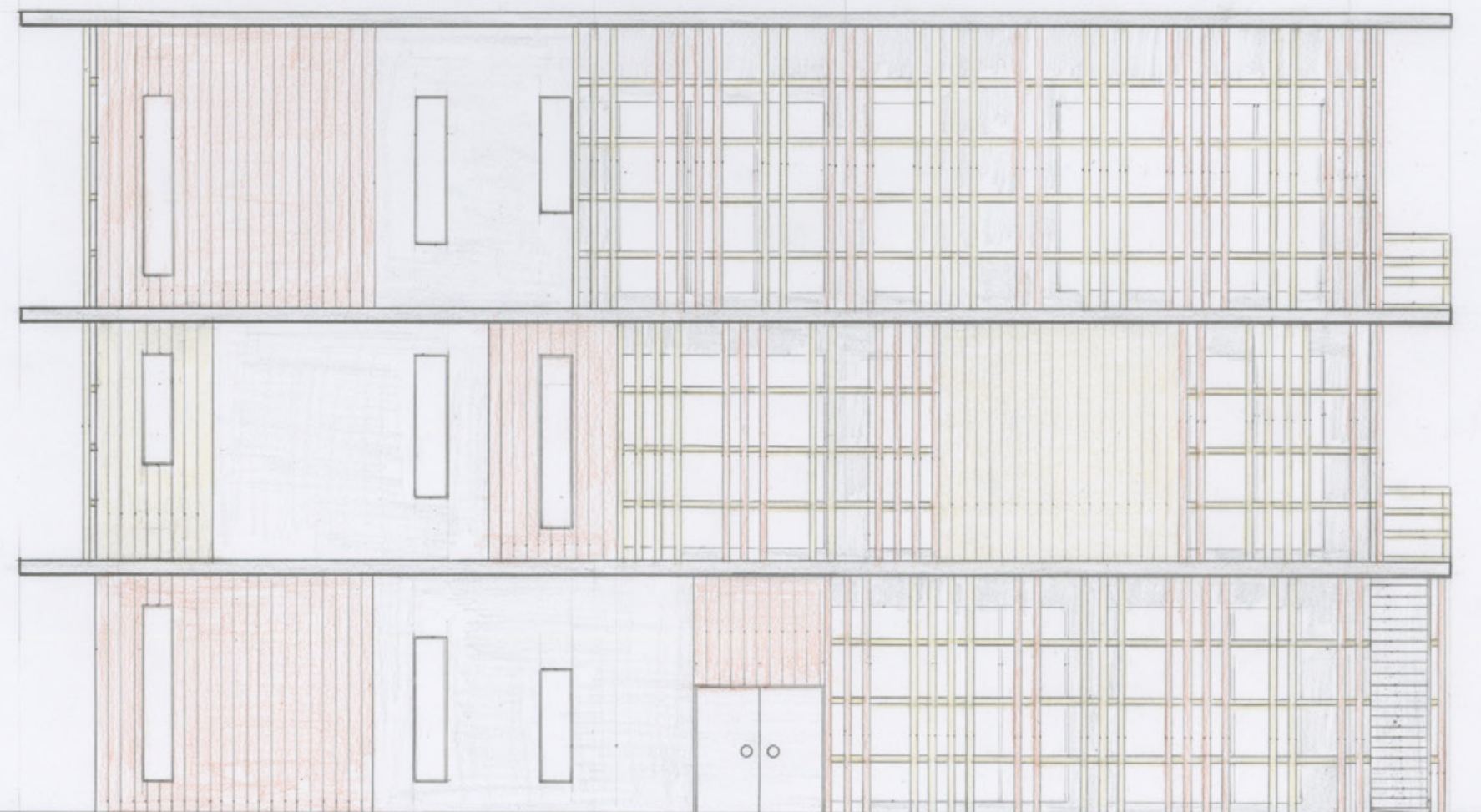
東立面図 (S=1/100)



北立面図 (S=1/100)

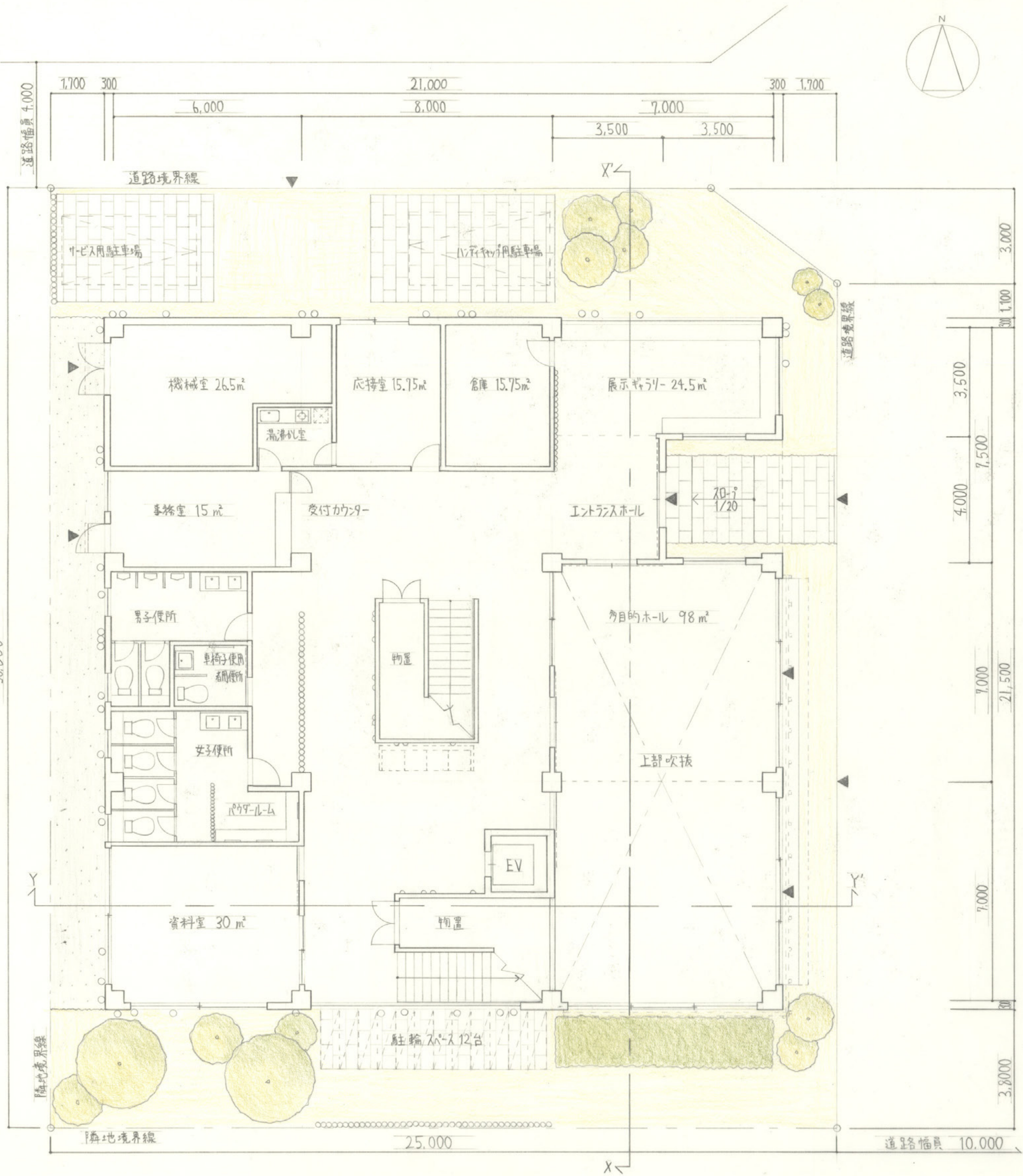


西立面図 (S=1/100)



南立面図 (S=1/100)

香り、感じる



コンセプト
 高山茶葉作り、赤土焼の茶碗作りを学習体験とし、奈良の工芸を学びながら、日本ならではのお茶を楽しむ施設にした。自分で作った茶葉でたてる抹茶を和室で楽しみ、そこから五重塔から望める。カフェからも景色が楽しめ、また通行人がカフェを見出しやすいようにした。多目的ホールでは主に試飲できるお茶の物産展を計画しており、エントランスから入らなくても通行人がふらっと立ち寄れるように開口部を広くし、カーテンウォールにすることで開放感を出した。1階で充滿するお茶の香りが、カフェの大きな窓から入ってくる風がたふ登り、2階にもお茶の香りがあふくように吹抜にした。アトリエ、講義室は多目的ホールの騒音が聞こえにくいように壁厚200にした。外観は、モダンながらも和を感じられるように茶葉の原料でもある竹を取り入れた。内装にも壁や椅子に竹を施しており、さわやかなお茶の香りが施設内を漂う。以上のことから「香り、感じる」というタイトルにした。

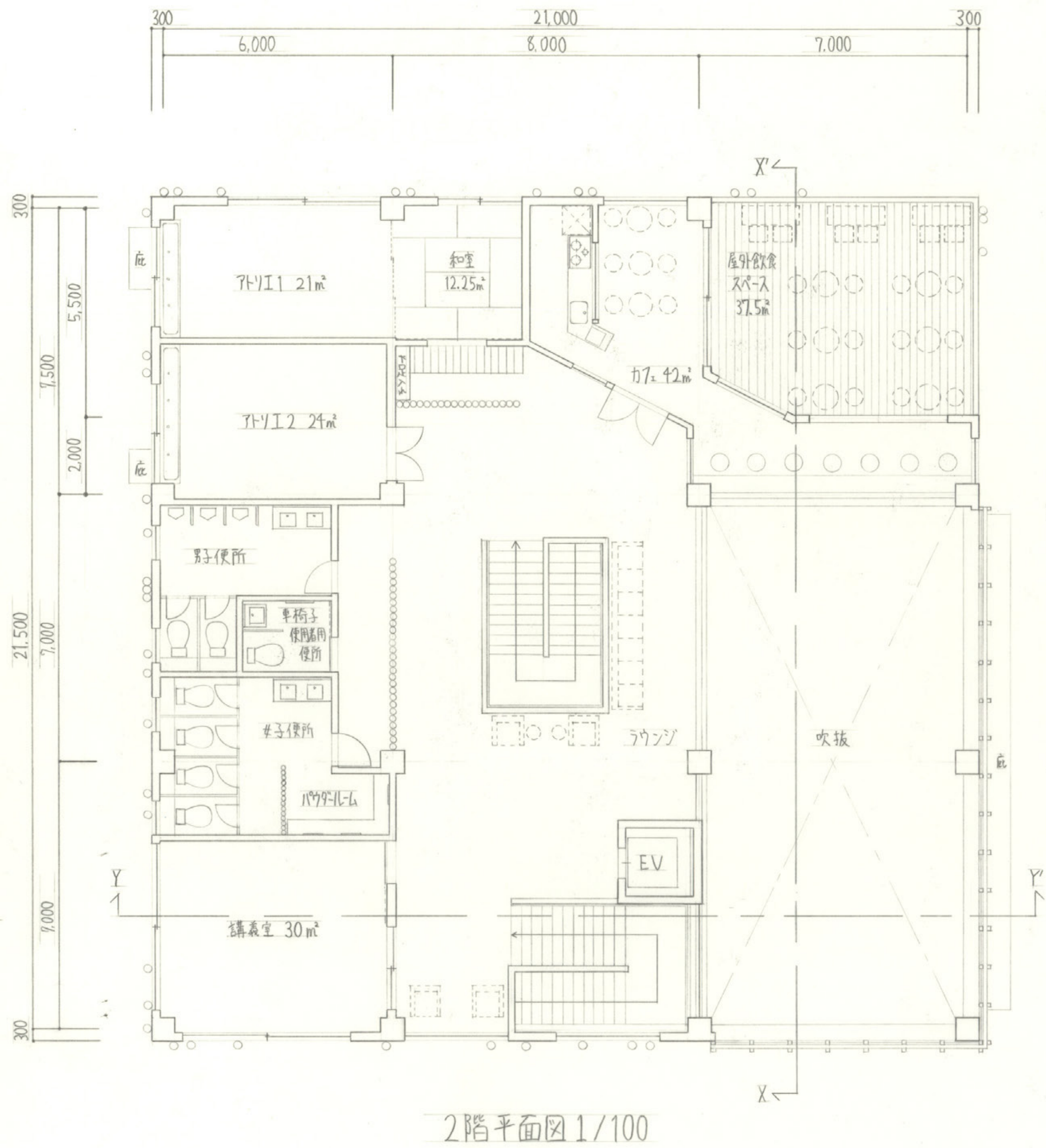
仕上表

外部	外壁	床	壁	天井
外部	外壁: コンクリート打放保線7mm塗布、ガルバリウム鋼板、晒竹火結り加工	屋根: シート防水	ラス床: パ	
内部	室名	床	壁	天井
内部	エントランスホール	ホモジュアスビニルタイル	EP塗装	EP塗装
内部	多目的ホール	竹複合フロー	有孔ボード	EP塗装
内部	講義室	タイルカーペット	竹腰壁板	EP塗装
内部	カフェ	磁器タイル	漆喰	漆喰
内部	アトリエ	竹複合フロー	竹腰壁板	桧厚貼矢羽根系組代
内部	和室	畳	珪藻土	桧厚貼矢羽根系組代

面積表

敷地面積: 744.00 m ²	建築面積: 437.90 m ²	1階床面積: 437.90 m ²	2階床面積: 308.90 m ²	延床面積: 746.80 m ²
-----------------------------	-----------------------------	------------------------------	------------------------------	-----------------------------

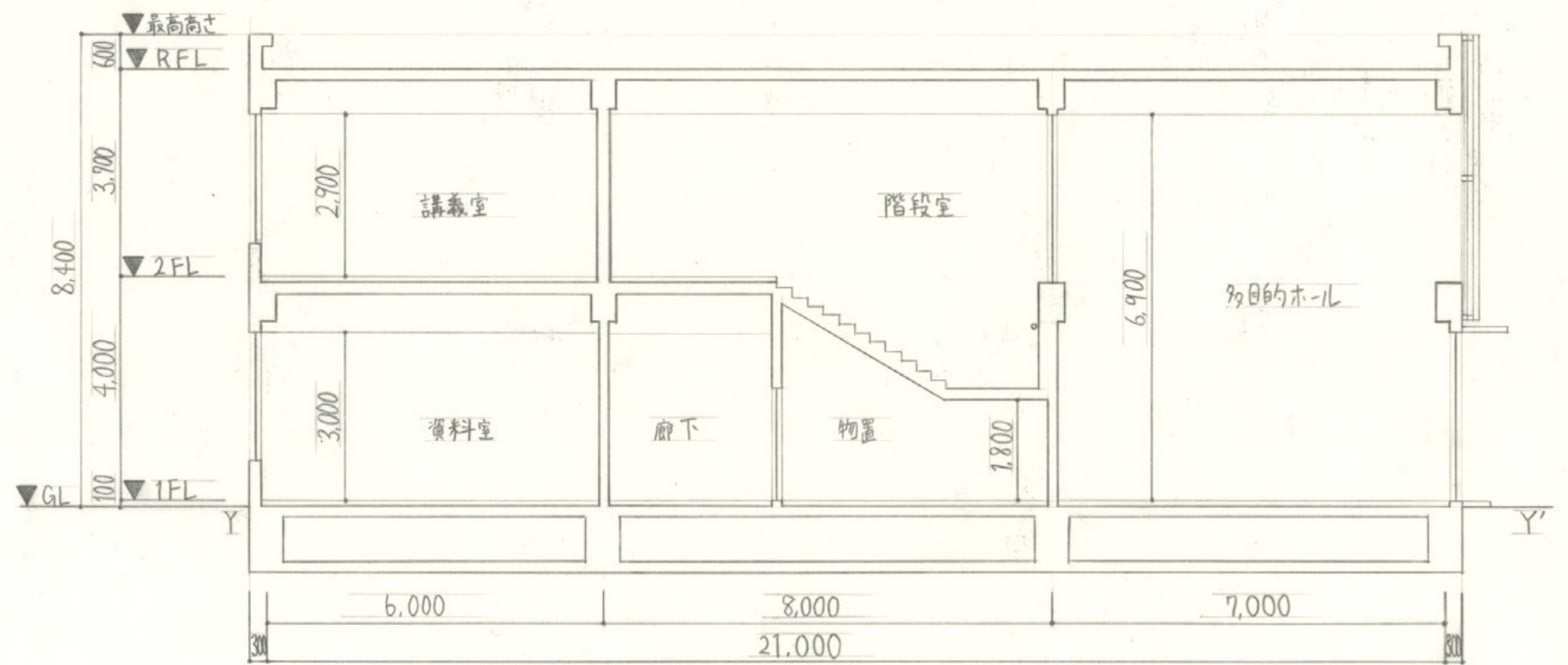
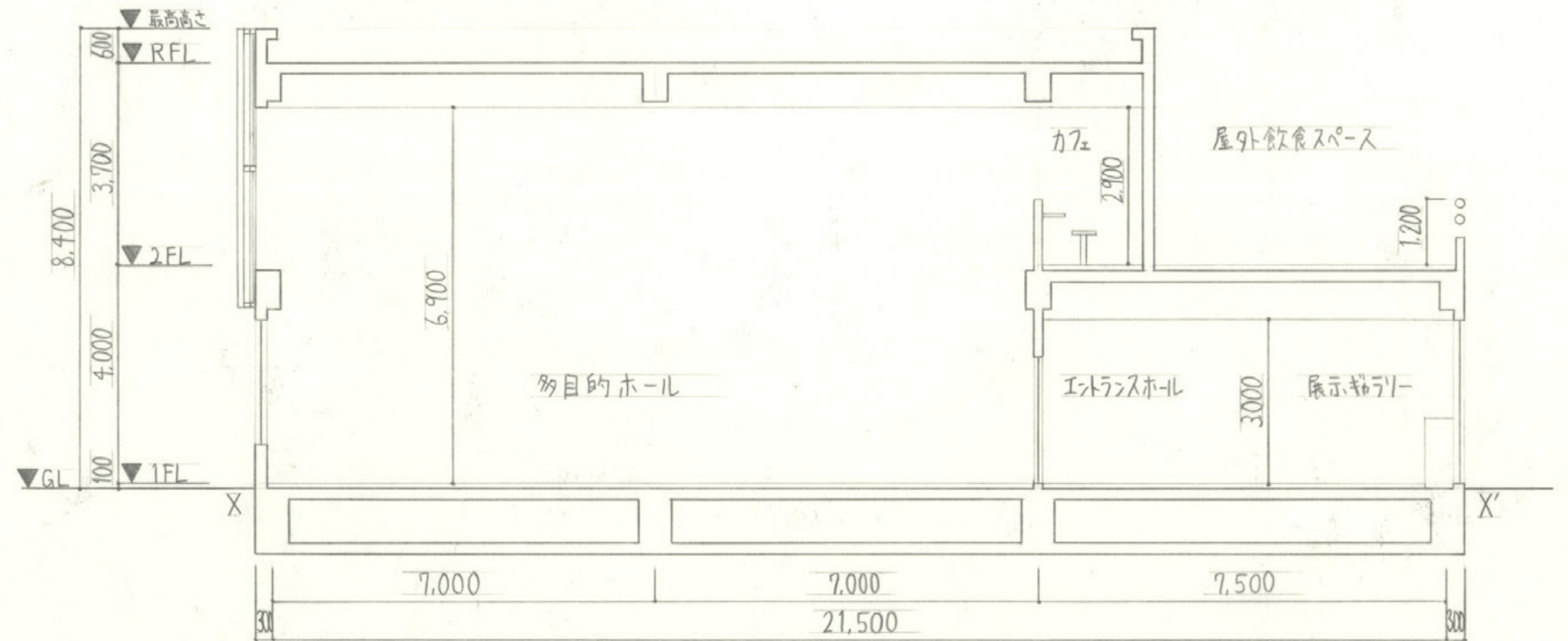


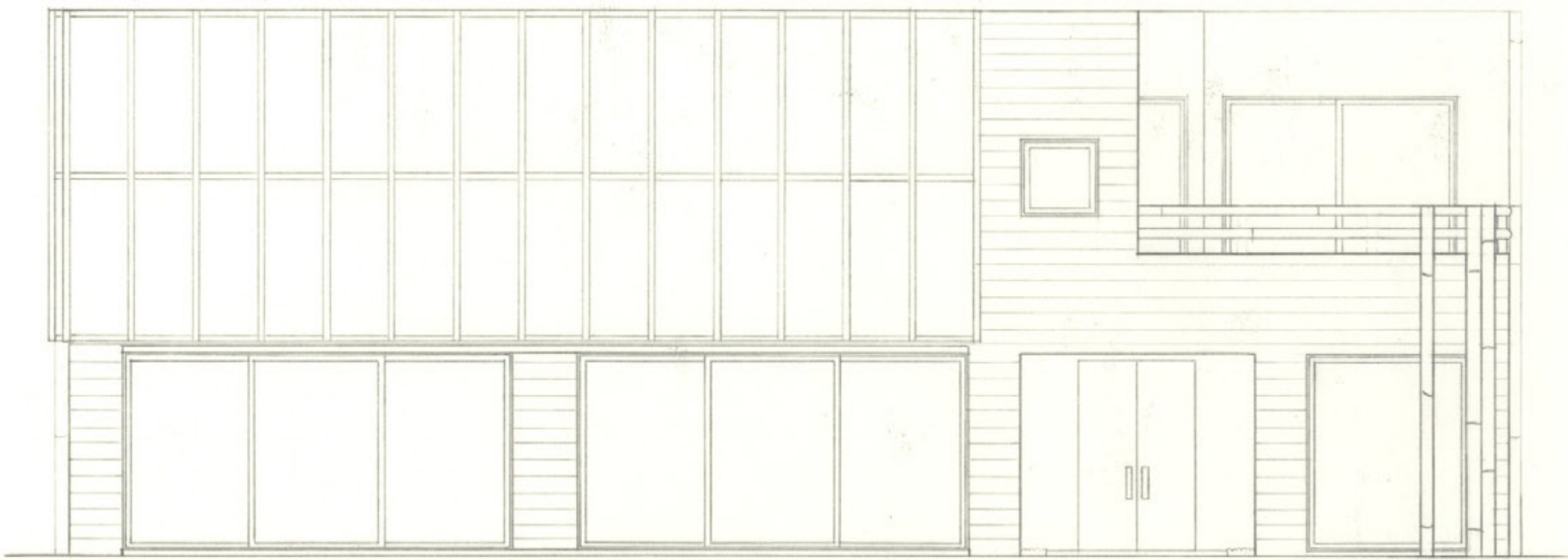


南西からの1階内部



南東からの2階内部





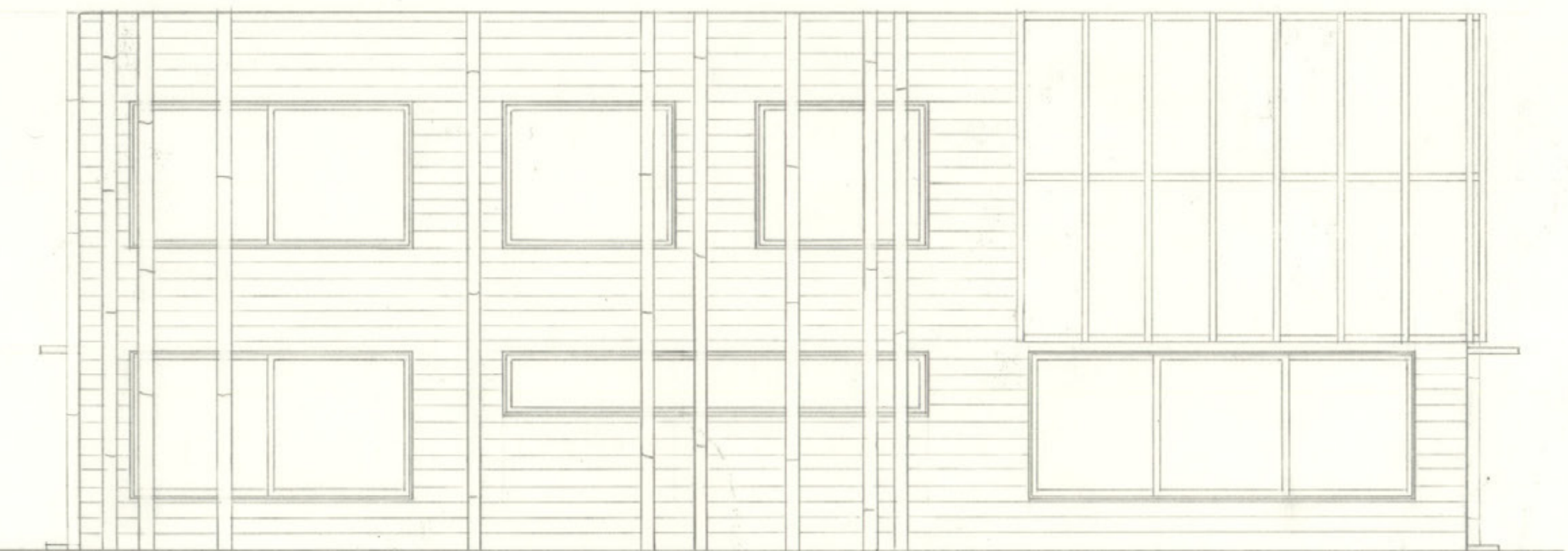
東立面図 1/100



北立面図 1/100



西立面図 1/100



南立面図 1/100

繋がり

コンセプト

生駒市高山町の伝統工芸品である「高山茶壺」をモチーフに、住居だけでなく、観光客や若者など訪れた人が気軽に立ち寄ることができるような施設を設計した。そのため、外観は東側の大通りに面する部分を1階から2階にかけて大きくガラス張りの展示スペースとすることで、通りかかると目に自然と入ってくるようにし、北側に面する方には、今回モチーフに使用している茶壺の原材料である竹を用いることで、竹本来の清潔さや、美しさを伝えることが出来るようにした。

さらに、建物内部の吹き抜け部分や、外から見える展示スペース等様々なところに竹材を利用することで、竹本来の縦に真っ直ぐ伸びる性質を存分に生かして、空間の広がりを感じられるようにした。

今回、茶壺づくりを実際に体験してもらうことで、古くから幅広い用途で使用されてきた竹材を身近に感じてもらうことでの、「人と日本文化との繋がり」。

また、3階建てを大きく活用した吹き抜けによる系統の「空間での繋がり」の意味を込めて、この「繋がり」というタイトルにした。

面積表

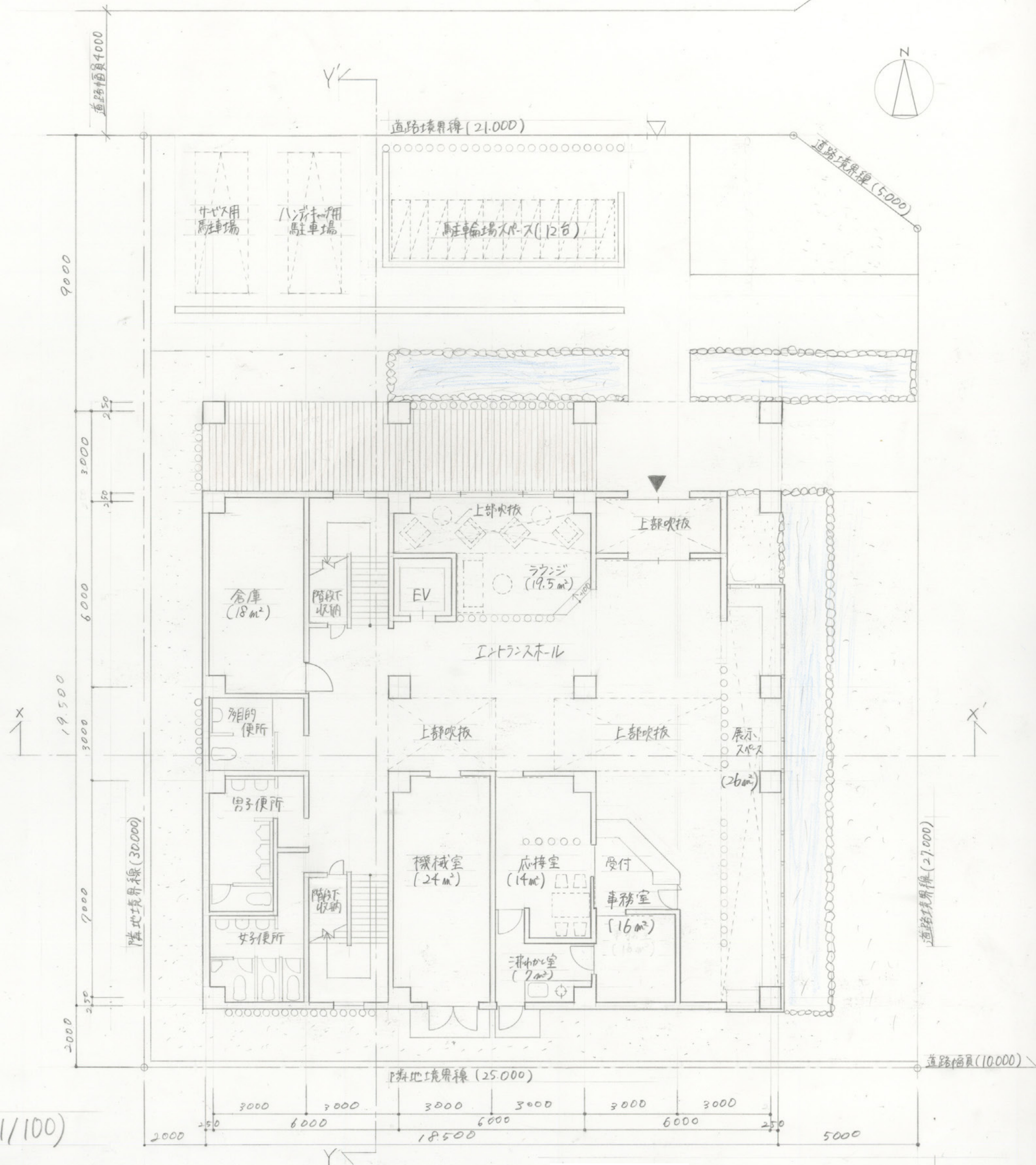
敷地面積	1744 m ²	
建築面積	373.065 m ²	
床面積	1階	282 m ²
	2階	218 m ²
	3階	271 m ²
延床面積	771 m ²	

仕上表

外部	壁: 漆喰(黒)、竹材(淡竹)
	床: コンクリート洗い出し
	屋根: 塗膜防水
内部	1階
	床: (エントランス) エポキシ
	モルタル
	壁: 珪藻土、竹材(淡竹)
	天井: 化粧石膏ボード(相)
	2階
	床: モルタル
	壁: 珪藻土、竹材(淡竹)
	天井: 化粧石膏ボード(木目)
3階	
床: (多目的ホール) グルカール	
モルタル	
壁: 珪藻土、竹材(淡竹)	
天井: 化粧石膏ボード(相)	

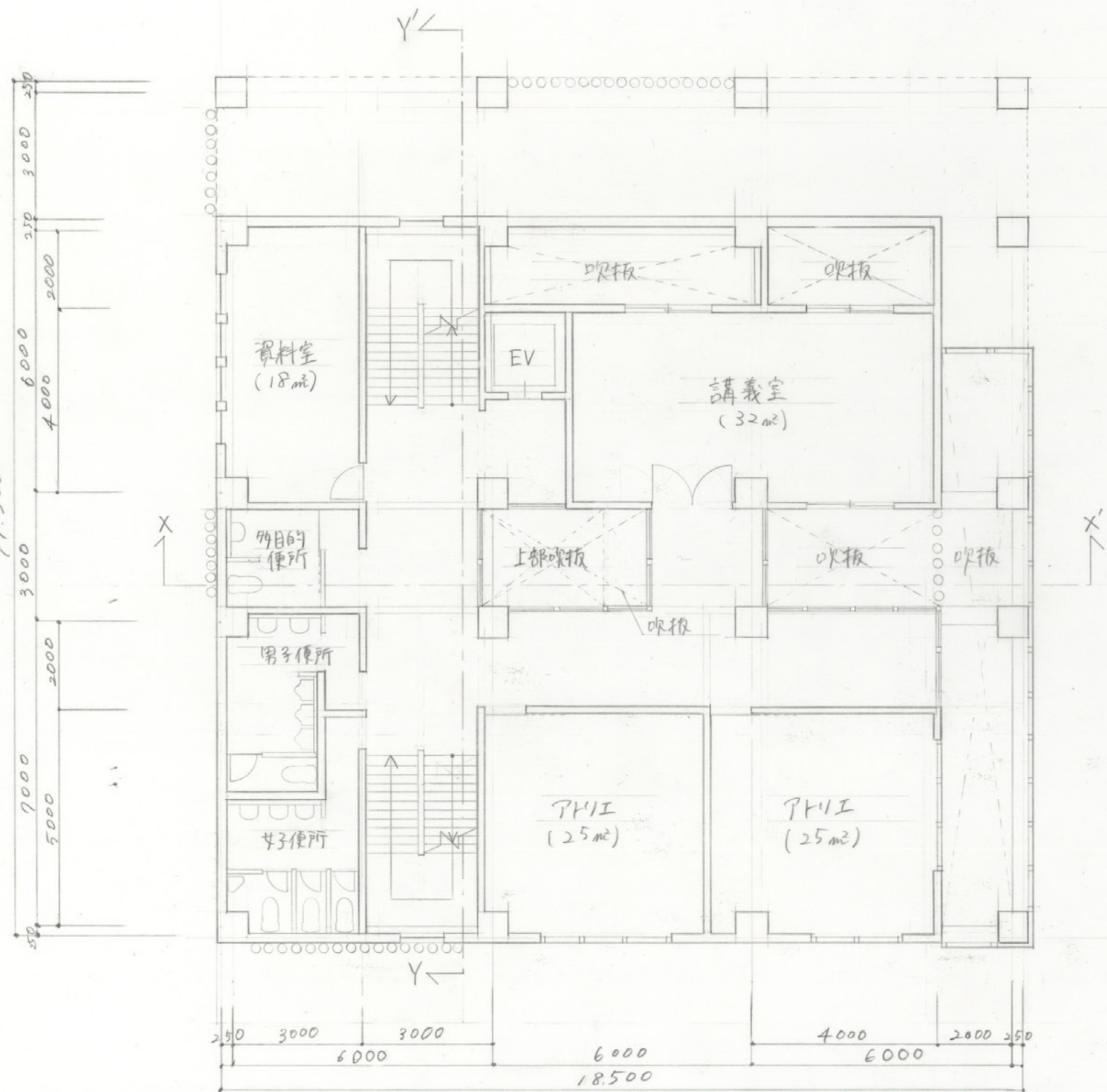


1階平面図兼西配置図 (S=1/100)

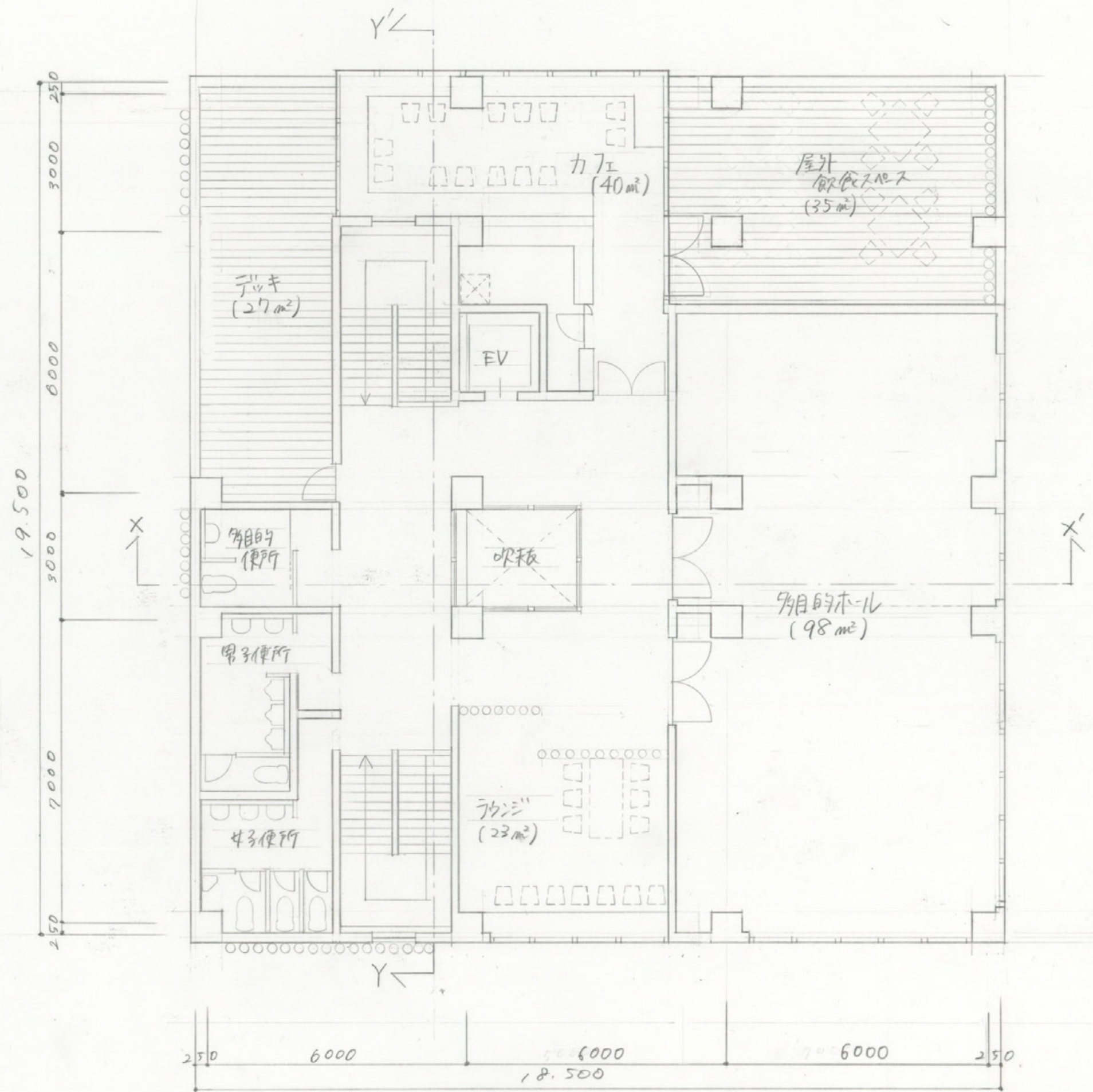


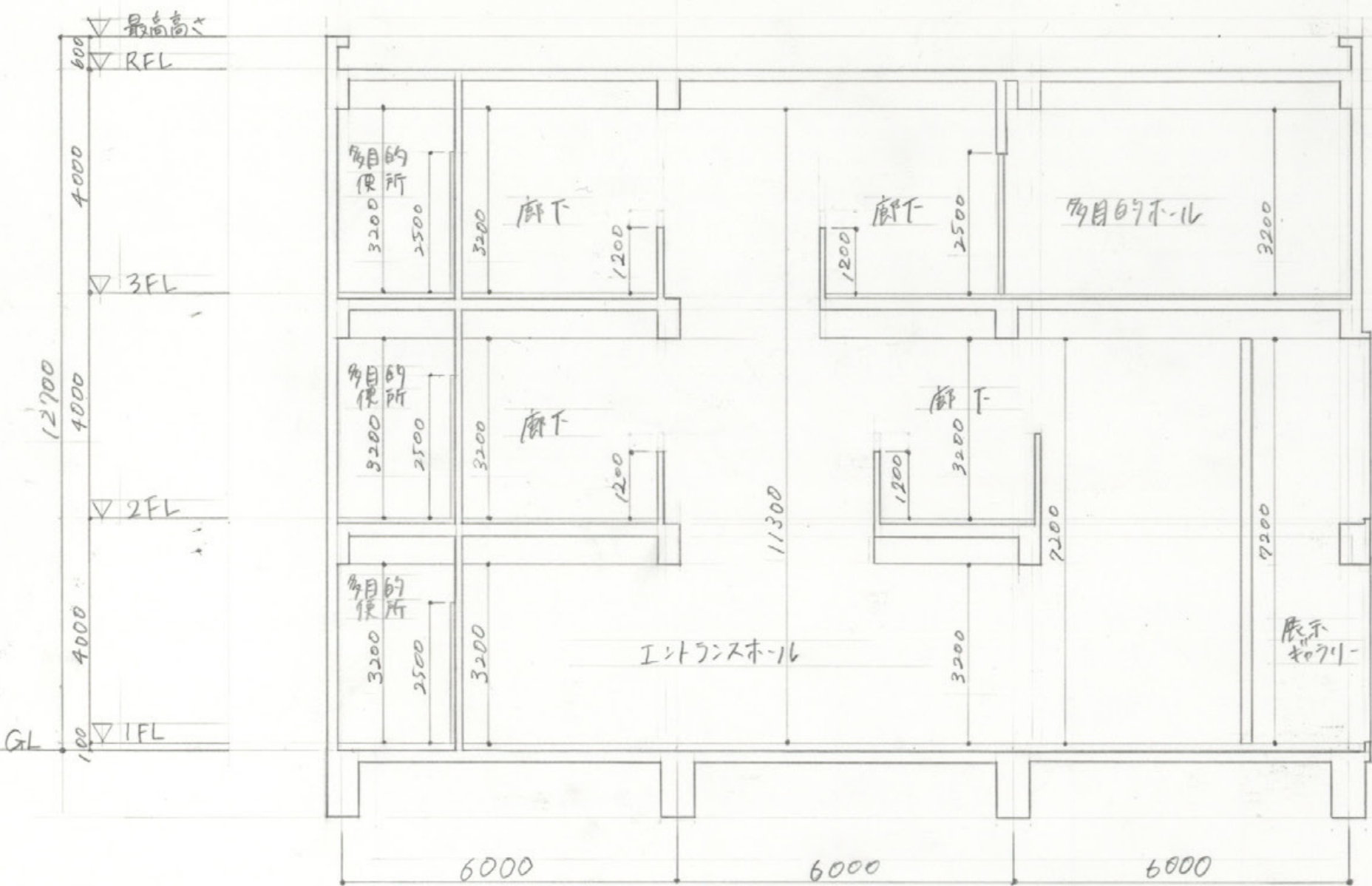
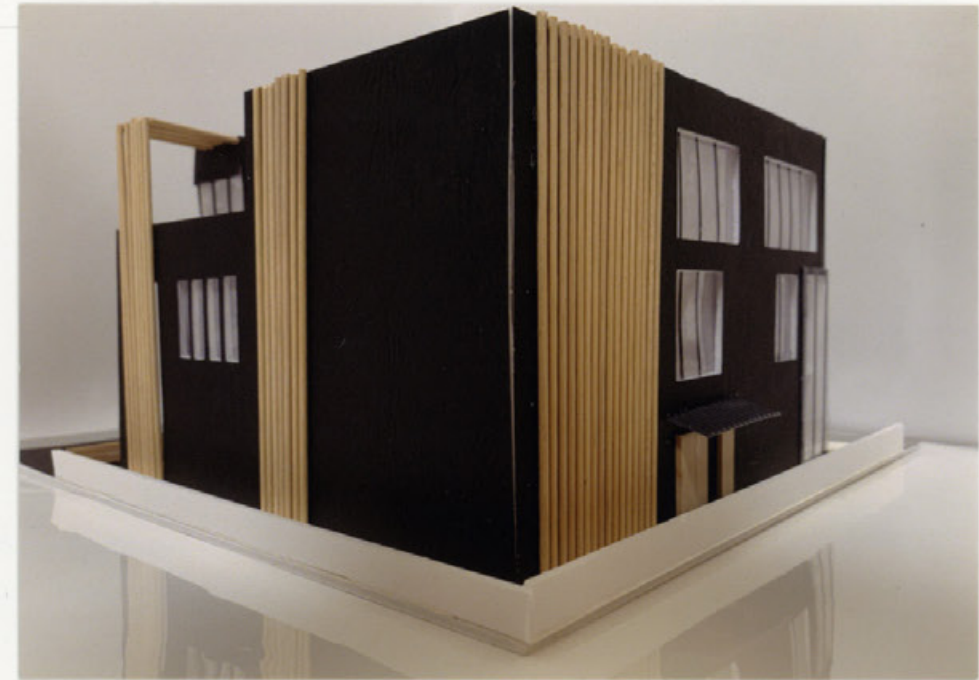
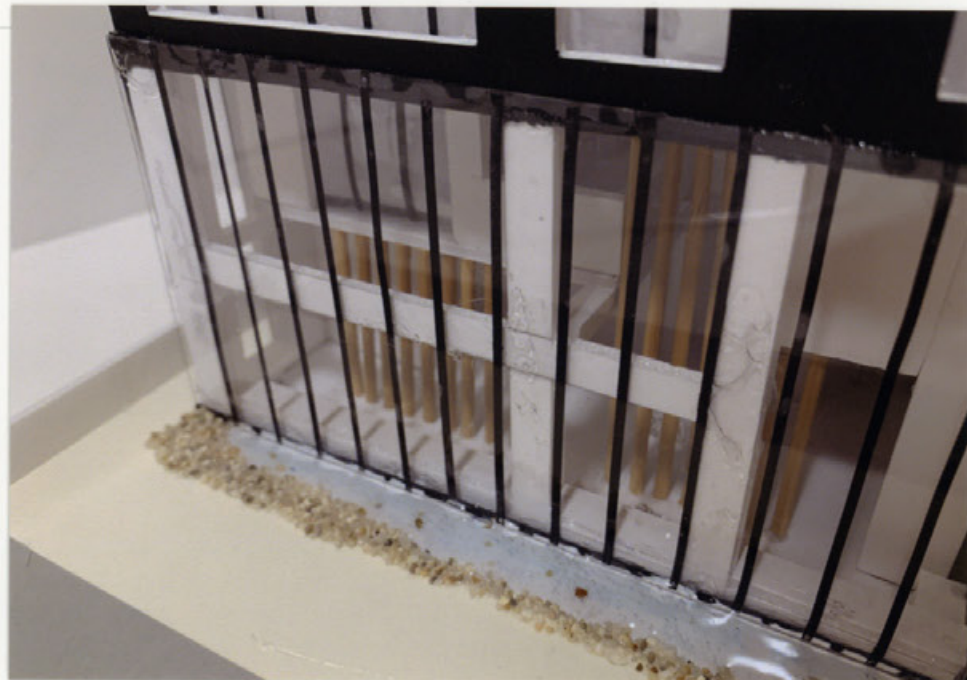
土井千聖

2階平面図 (S=1/100)

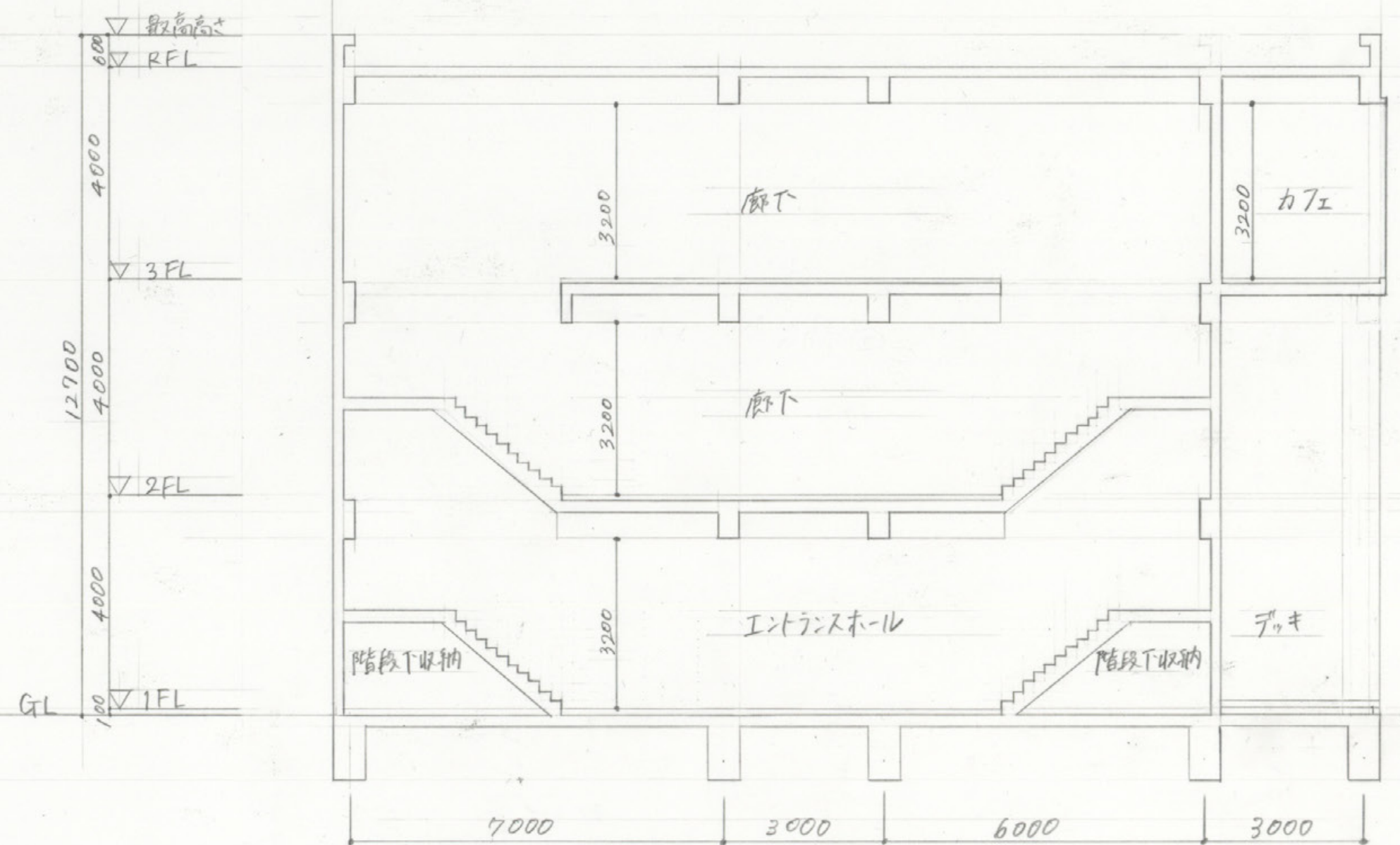


3階平面図 (S=1/100)





X-X' 断面図 (S=1/100)

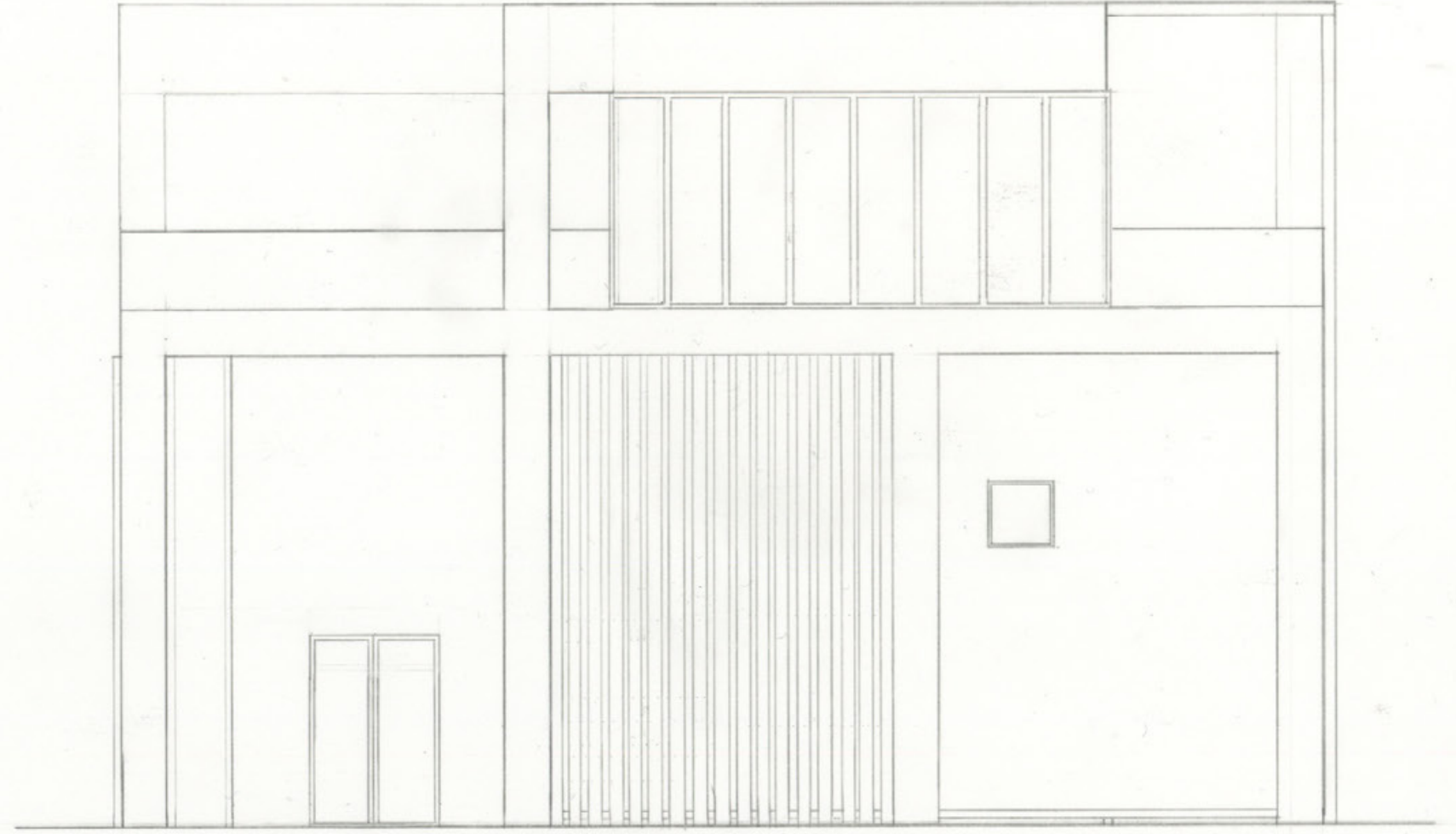


Y-Y' 断面図 (S=1/100)

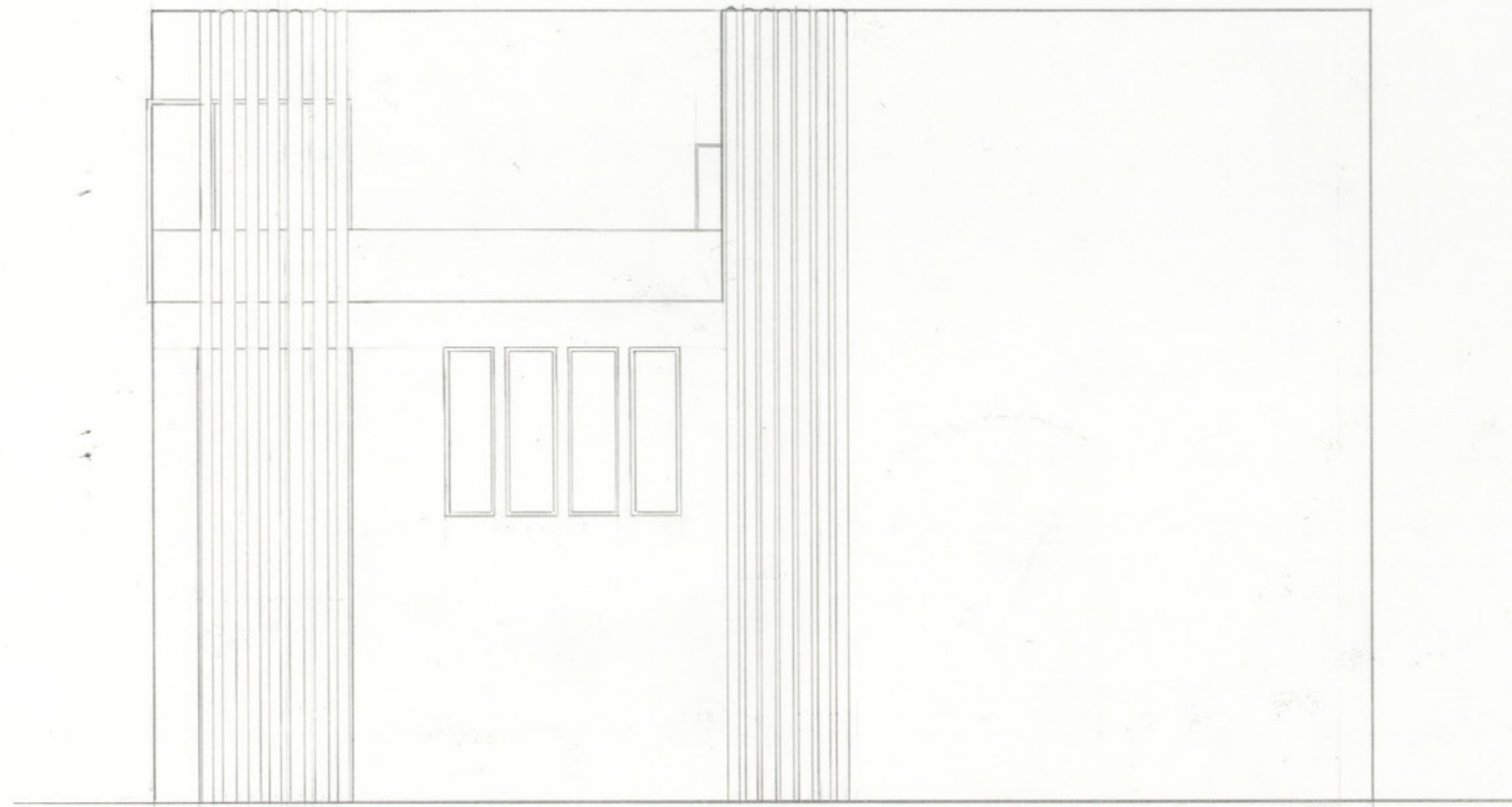
土井千聖



東立面圖 (S=1/100)



北立面圖 (S=1/100)



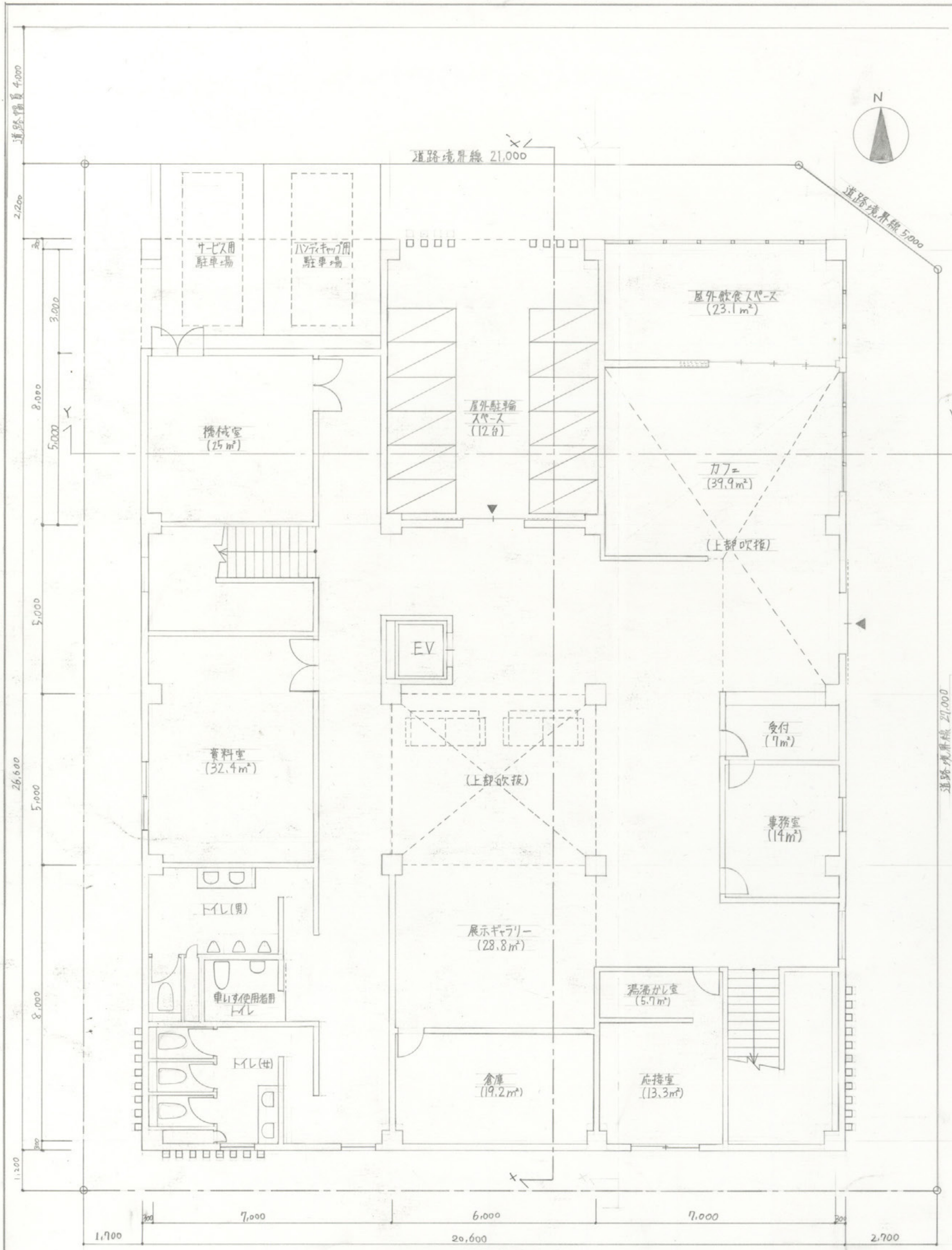
西立面圖 (S=1/100)



南立面圖 (S=1/100)

土井干聖

和の融合



1階配置図兼平面図 (S=1/100)

コンセプト

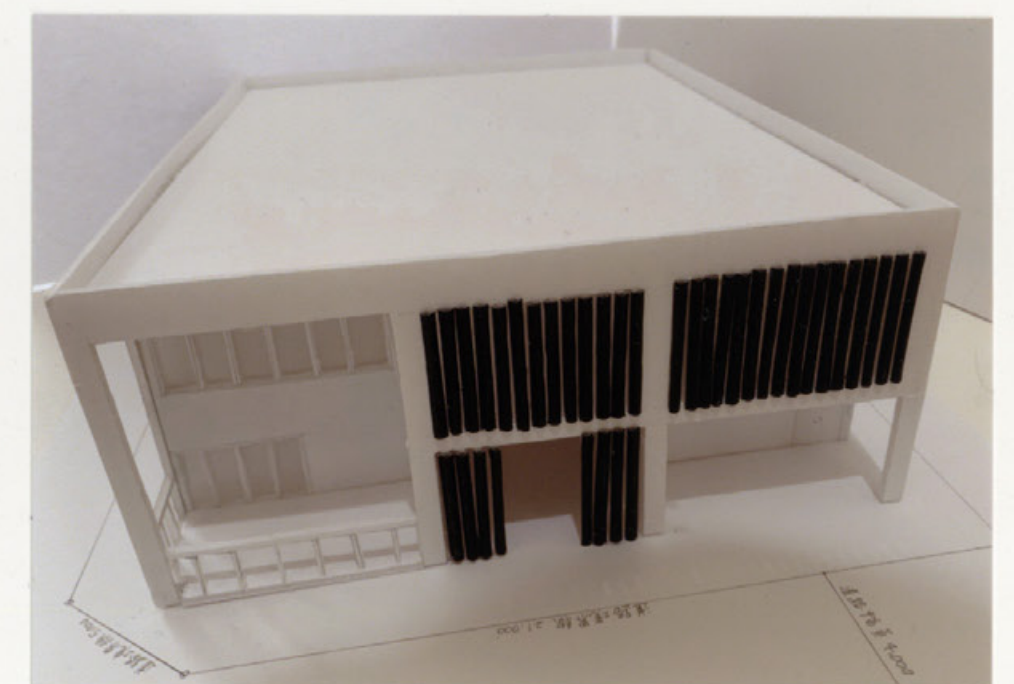
奈良の特産である奈良筆を地元の方だけでなく、若者や観光客に身近に感じてもらうことができる施設と設計しました。奈良の象徴である「五重塔」を建物から眺められるように北側に設けたカフェを吹き抜けにし、さらに大きい窓を設置することでならまの風景を眺めながら開放感を感じられるようにしました。東側と西側の窓を丸にしい、格子をつけることで、昔ながらの奈良の建物を演出しました。入り口を駐車場や駐輪場に近い北側と人通りの多い道路に面した東側の二箇所を設置することで、訪れた人が利用しやすいようにしました。外観に所々縦と横の格子のついた窓や書道の墨の色である格子を設置することで、ならまの「和」の雰囲気と一体に感じられるようにしました。

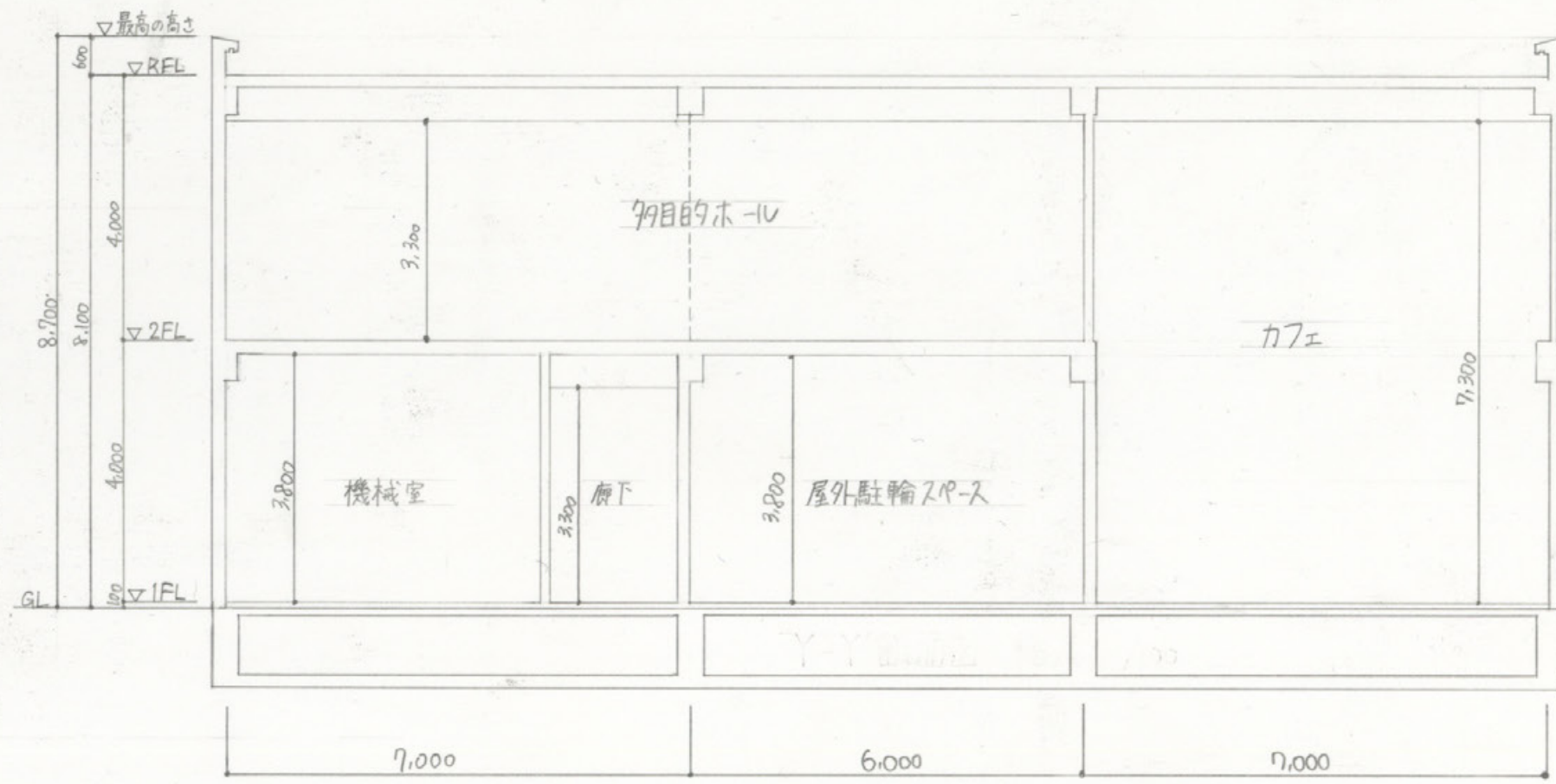
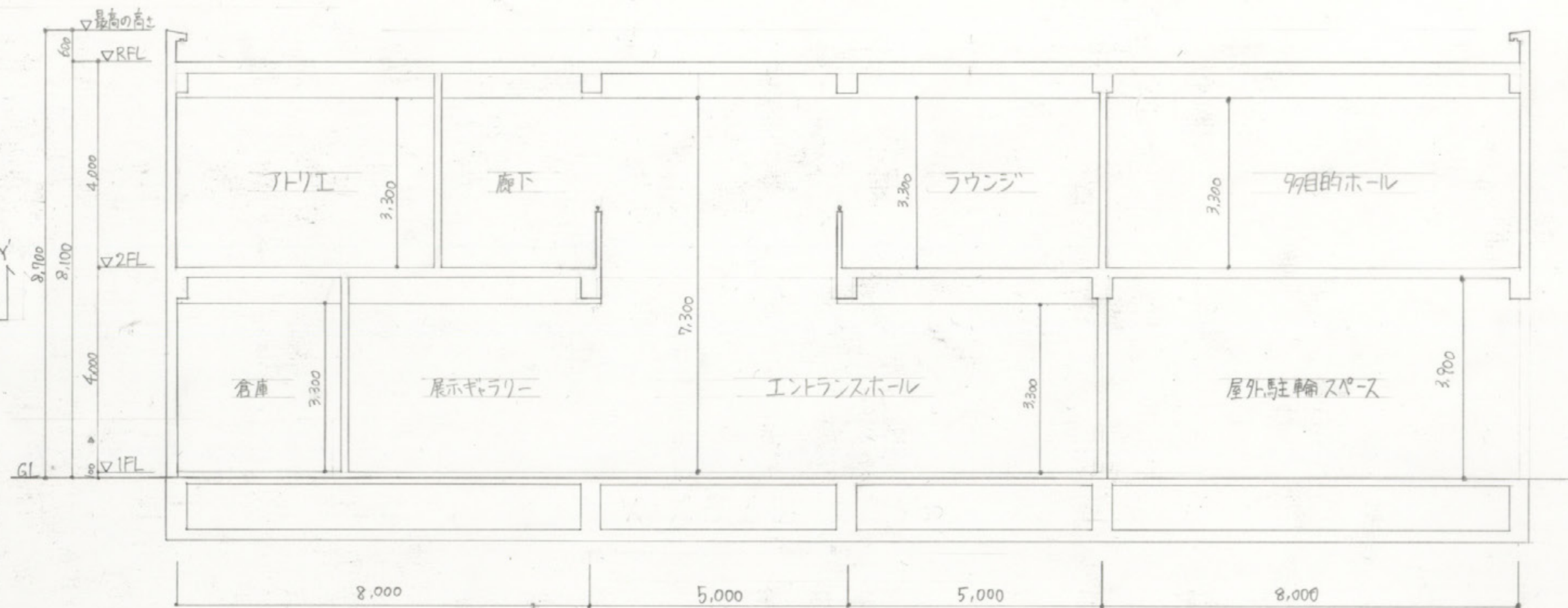
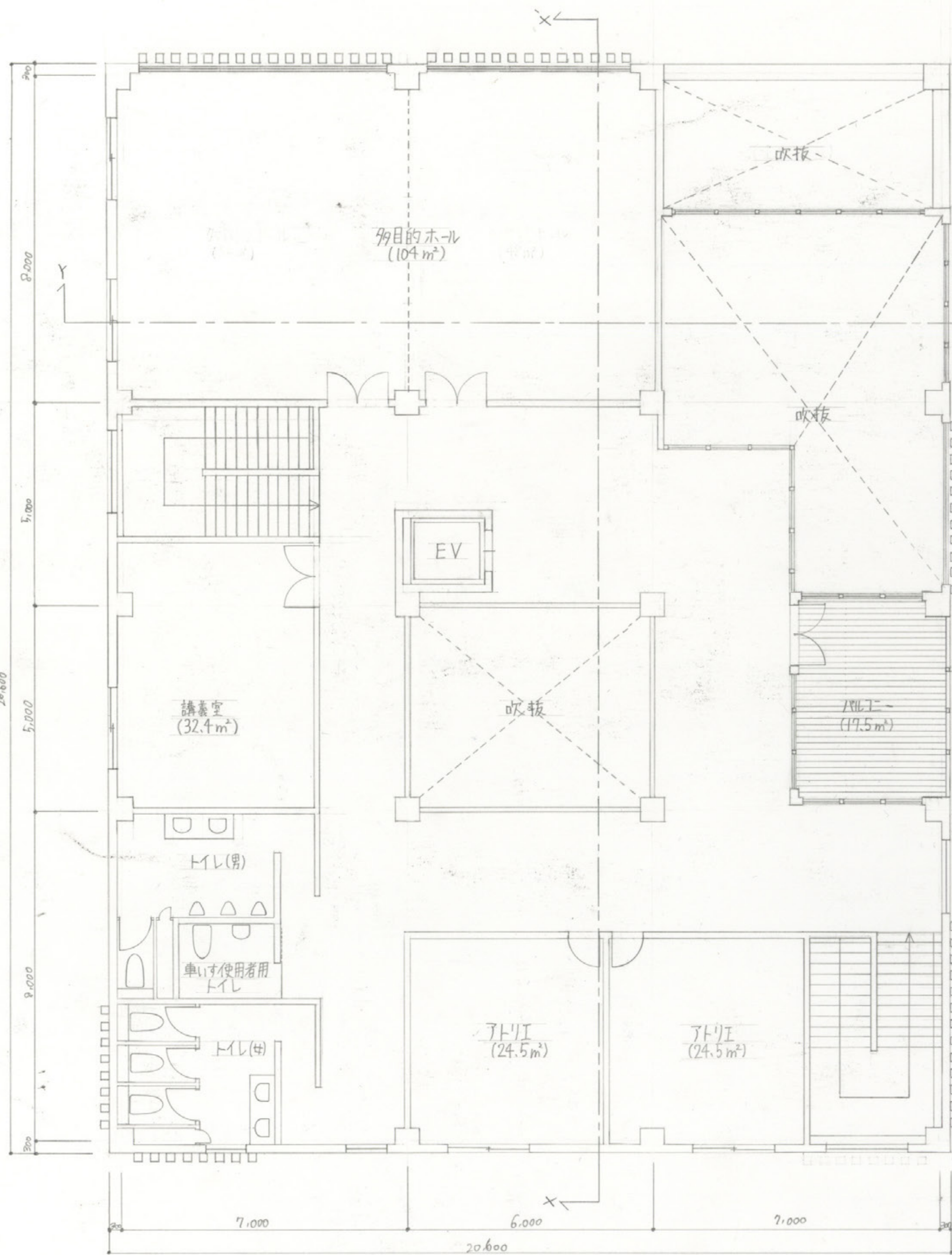
面積表

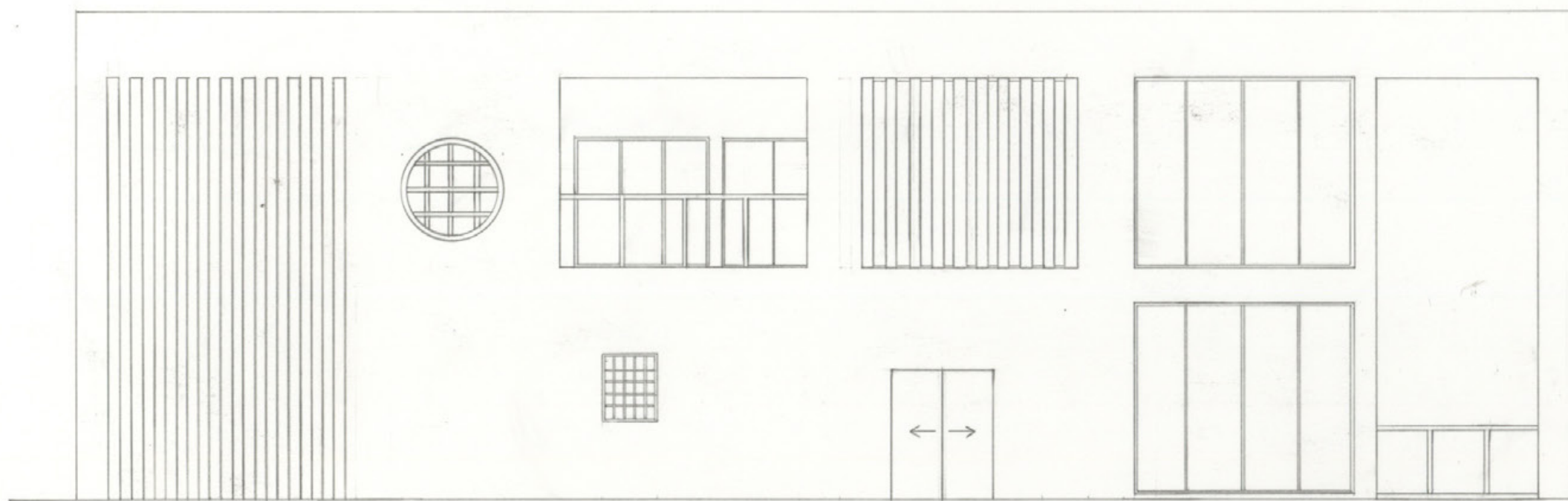
敷地面積		938.00m ²
建築面積	(計算式) 26.00 × 20.00 = 520.00	520.00m ²
床面積	1階	(計算式) 520 - (21 + 48 + 23.1) = 427.90
	2階	(計算式) 520 - (23.1 + 39.9 + 14.06 + 17.05 + 32.0) = 395.49
延床面積		823.39m ²

仕上表

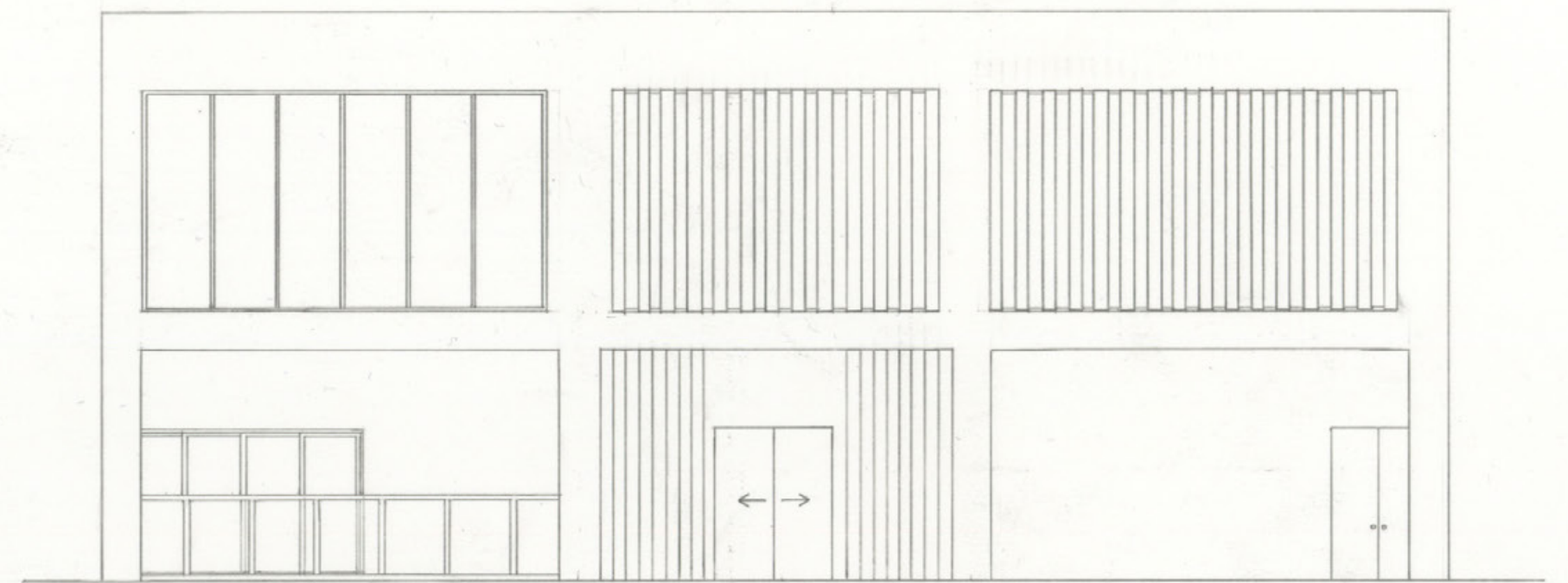
外部	壁	カラーモルタル(白)	
	床	黒モルタルにハケ引き仕上げ	
	屋根	シート/塗膜防水	
内部	1階	床	ビニル床タイル
		壁	漆喰
	2階	天井	EP塗装
		床	ビニル床タイル



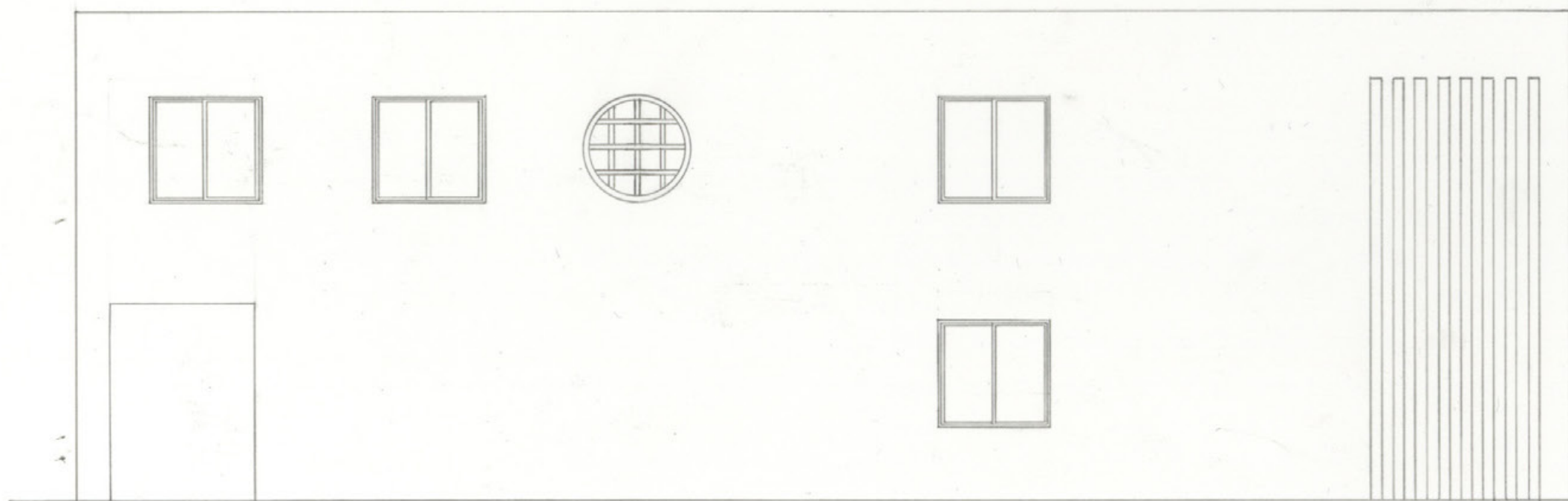




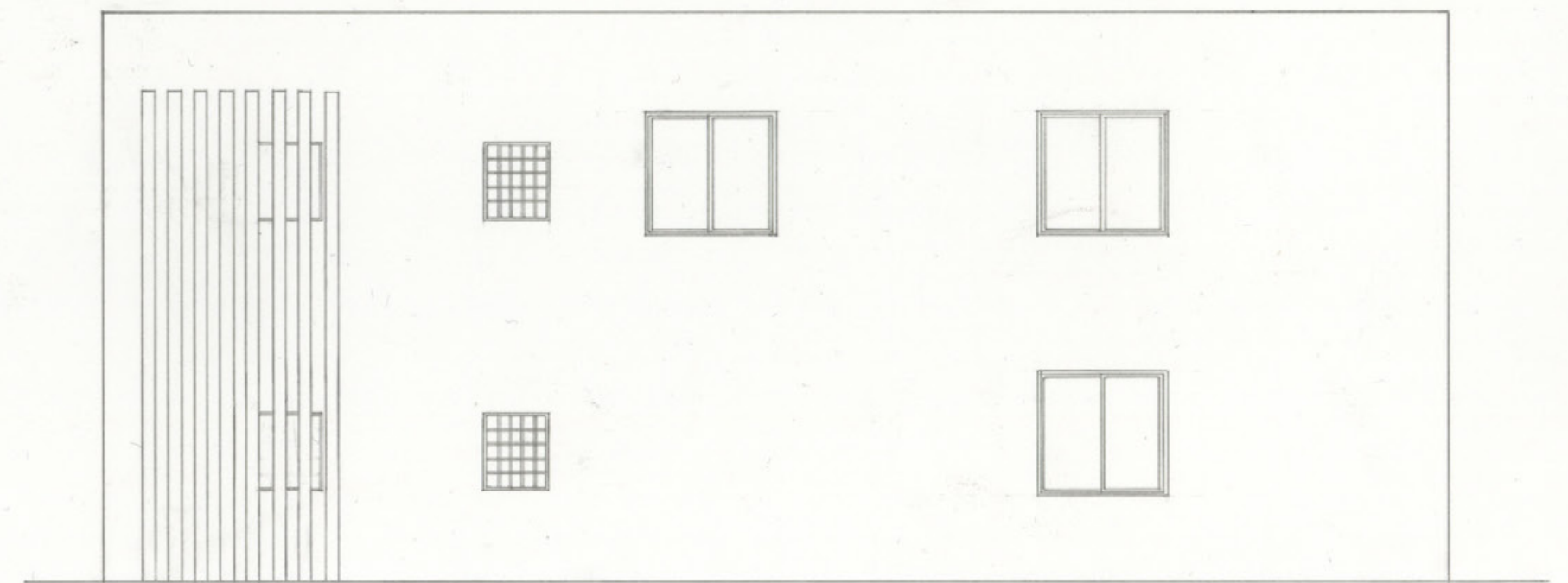
東立面图 (S=1/100)



北立面图 (S=1/100)



西立面图 (S=1/100)



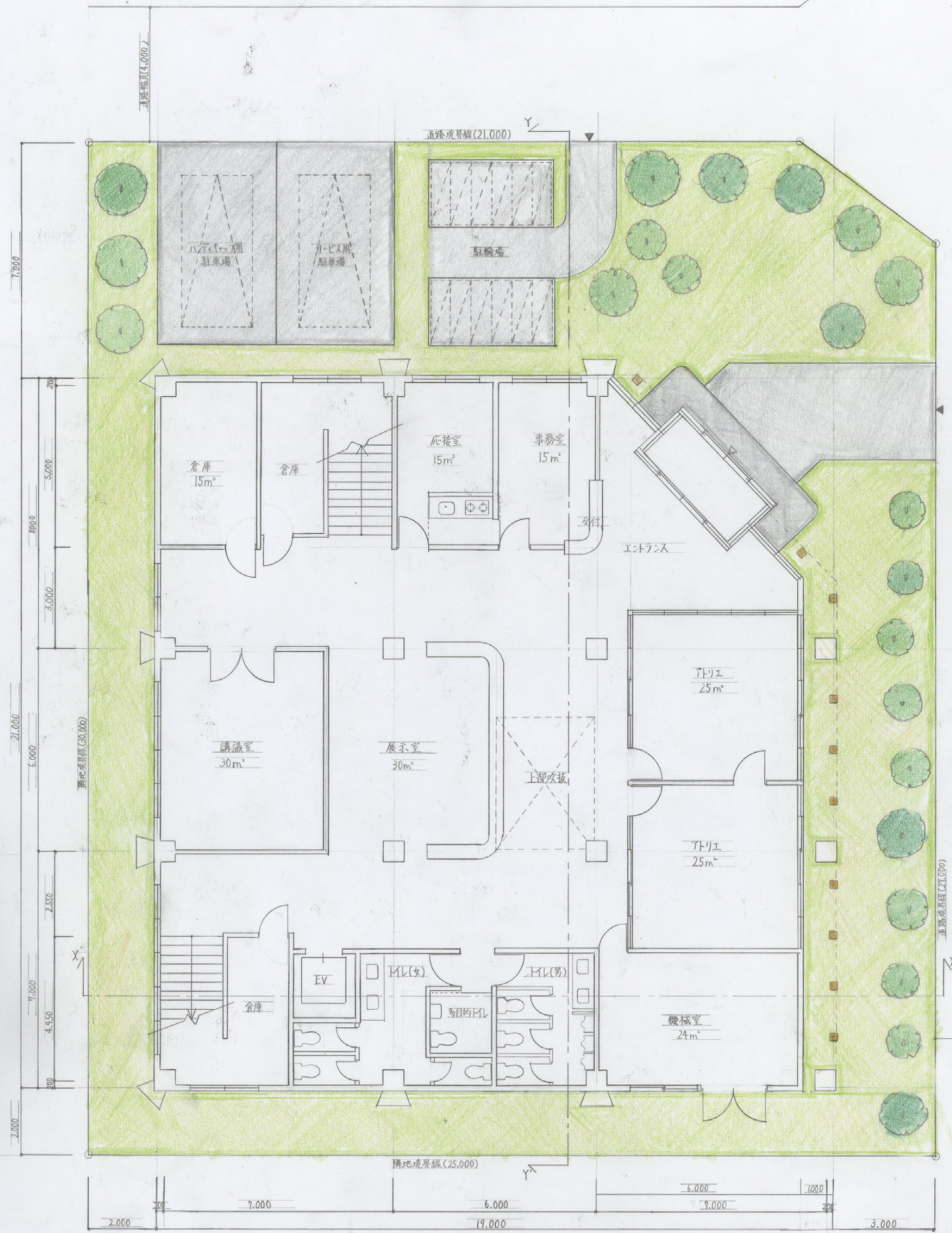
南立面图 (S=1/100)

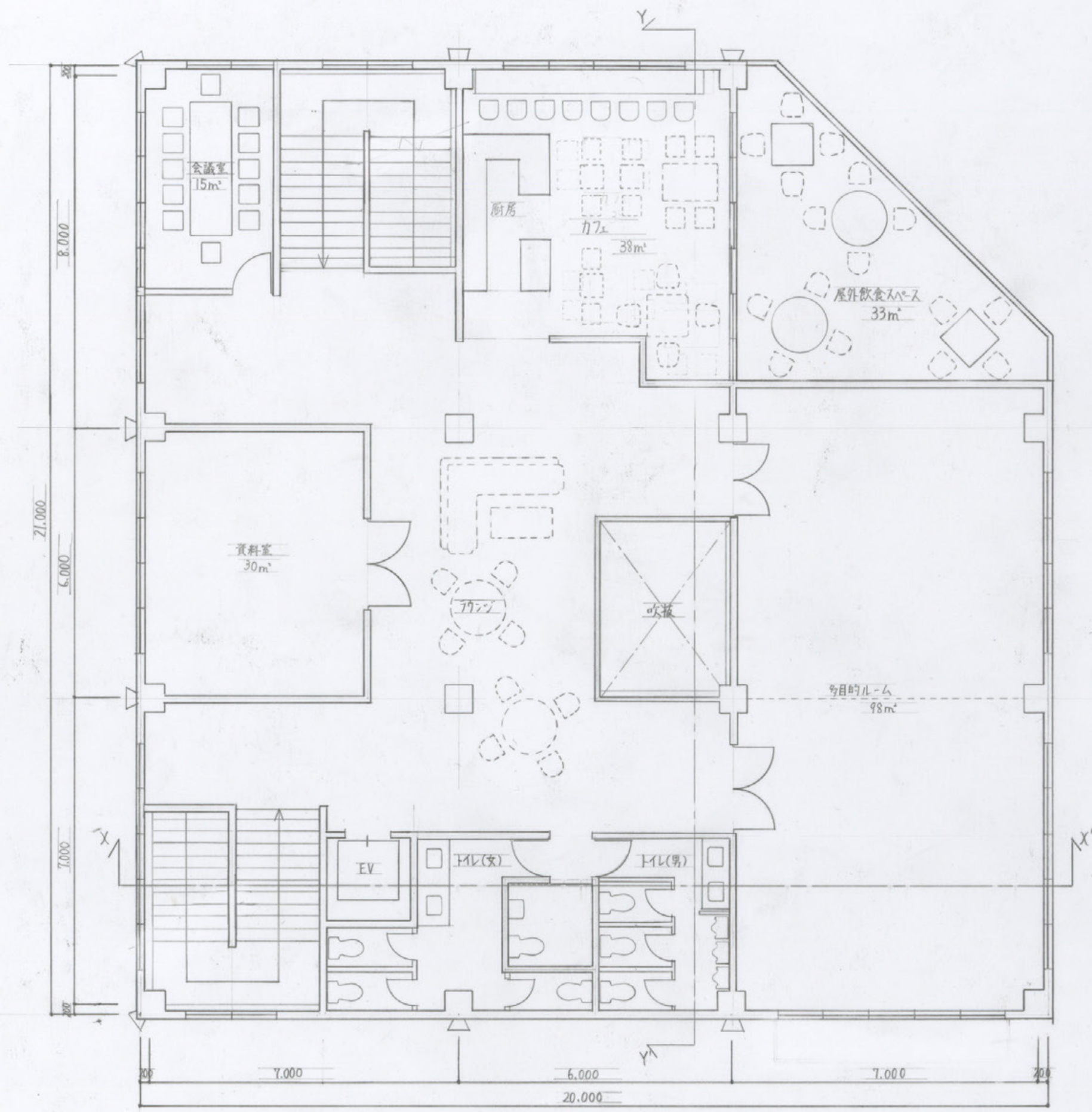
光と吉野杉の調和

コンセプト
 奈良県で文化的に有名な吉野杉を使って、家具などを製作できる体験型施設を設計した。
 大人から子どもまで幅広い年代の人に吉野杉の魅力や、吉野杉を使った製作の楽しさを知っていただくための
 このような施設にしました。
 展示ギャラリーでは、過去の優秀作品が展示されており、「こんなものが自分で作れるのか」と思っていたけるように、
 展示作品が目立つように壁を仕切らず、一階のどこからでも作品が見えるようにしました。
 2階のカフェでは、窓側にカウンター席を設けており、そこから五重塔や奈良町が一望できるようにしています。
 施設全体に窓が多いため、外の光を感じながら施設と遊べるような設計にしています。
 外壁の大きな柱は、建物を大きく見せるようにするためだけでなく、よく目立ち、興味を持って施設に入りたいだけ
 ように、建物の形のおもしろさを強調しています。

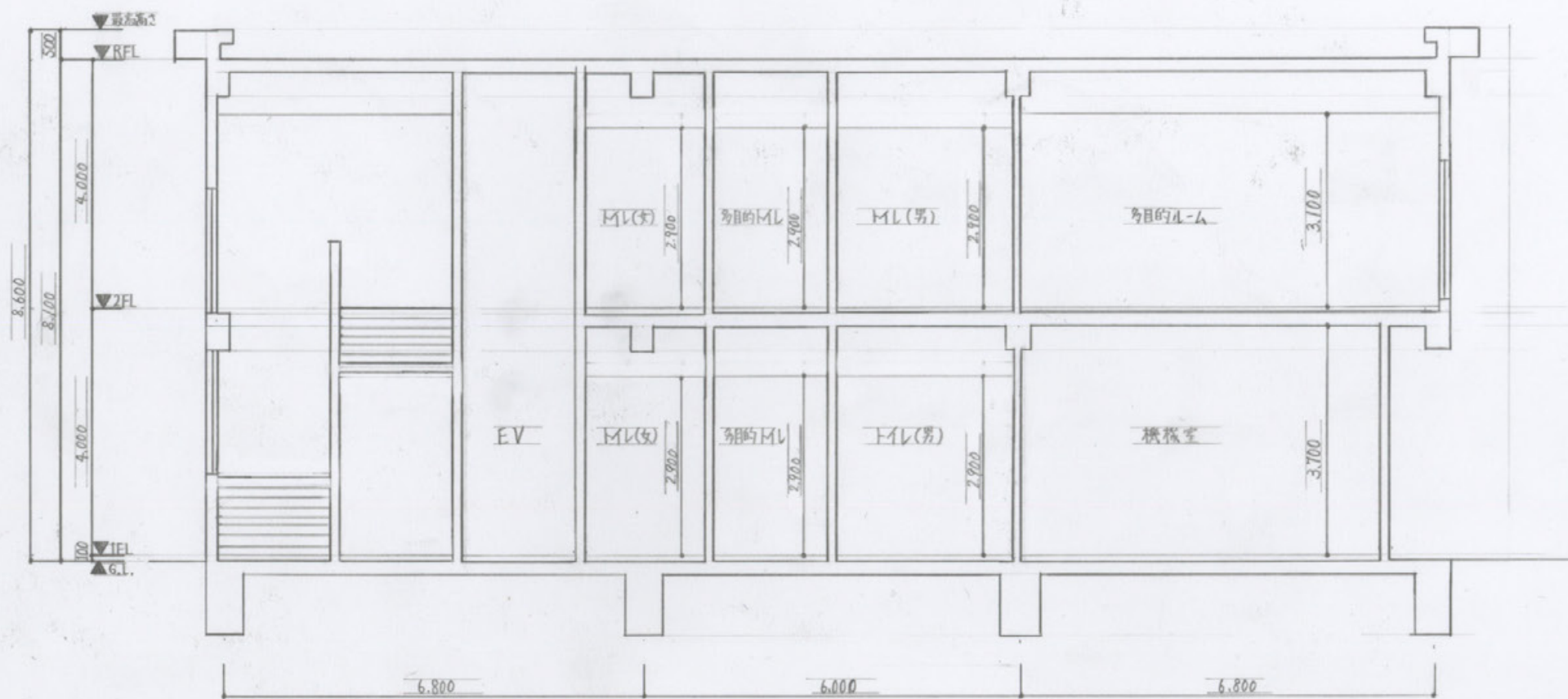
敷地面積	744.0㎡
建築面積	401.5㎡
1F	386.5㎡
2F	359.0㎡
延床面積	745.5㎡

外部	壁	コンクリート・タイル		
	屋根	ガルバリウム鋼板		
内部	天井	壁	床	
	アトリエ	吉野杉	吉野杉	吉野杉
	エントランス	0.77ル化粧板	シート化粧(和紙)	シート化粧(和紙)
	多目的ホール	0.77ル化粧板	フロー	フロー
	カフェ	71カル板	タイル	フロー

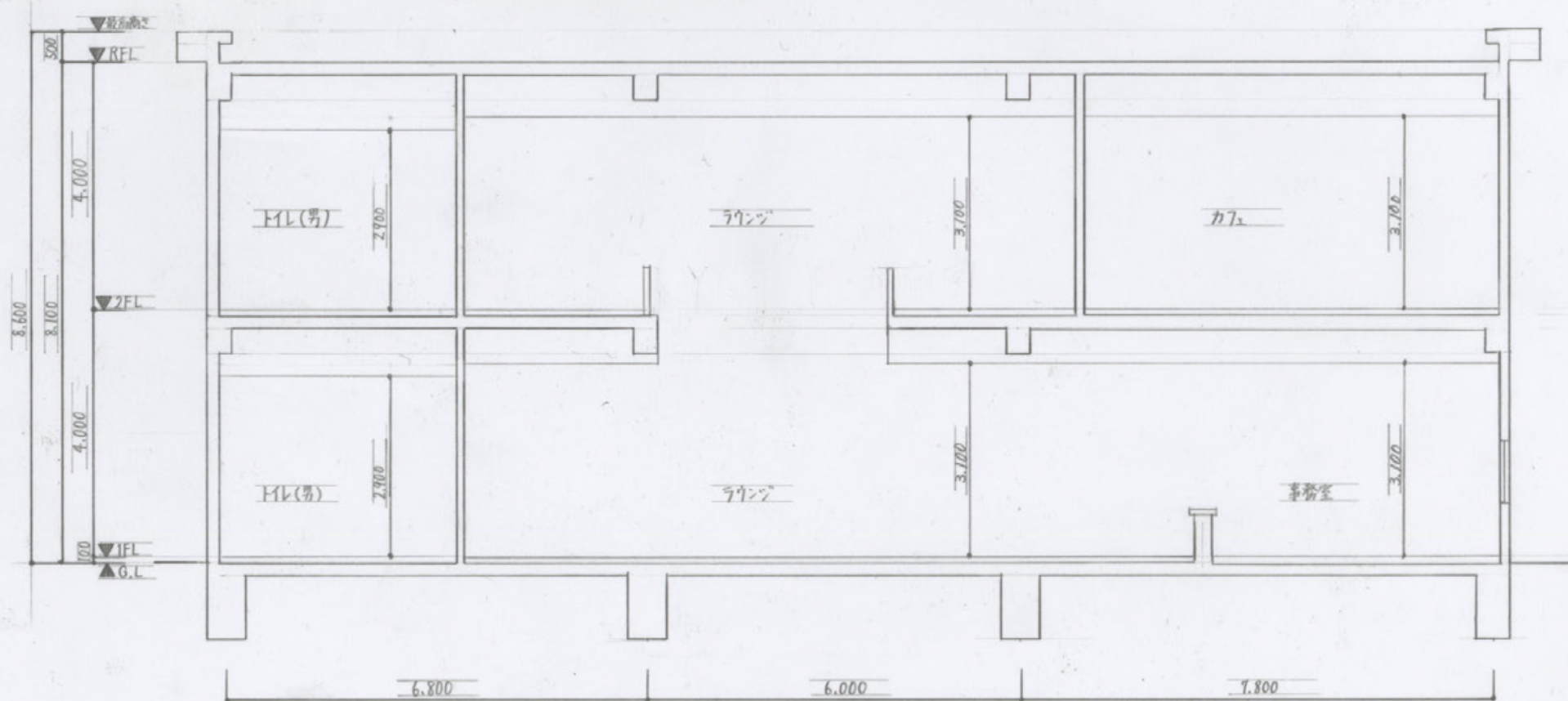




2階平面図 (S=1/100)



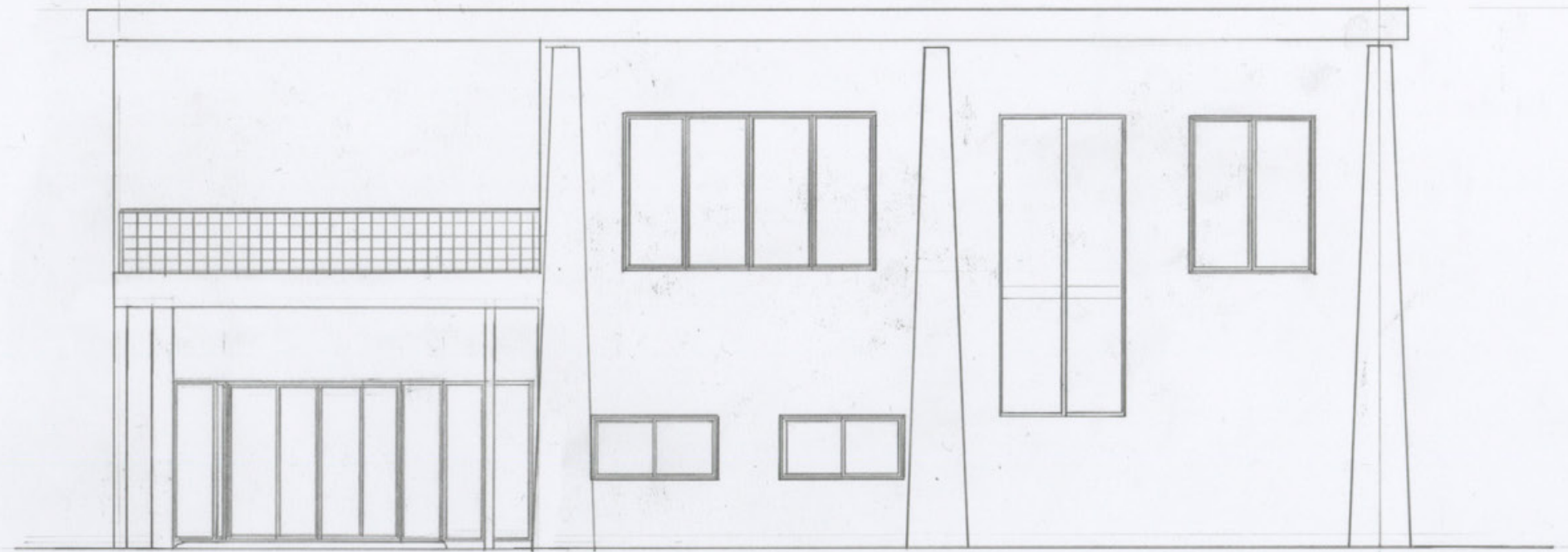
X-X'断面図 (S=1/100)



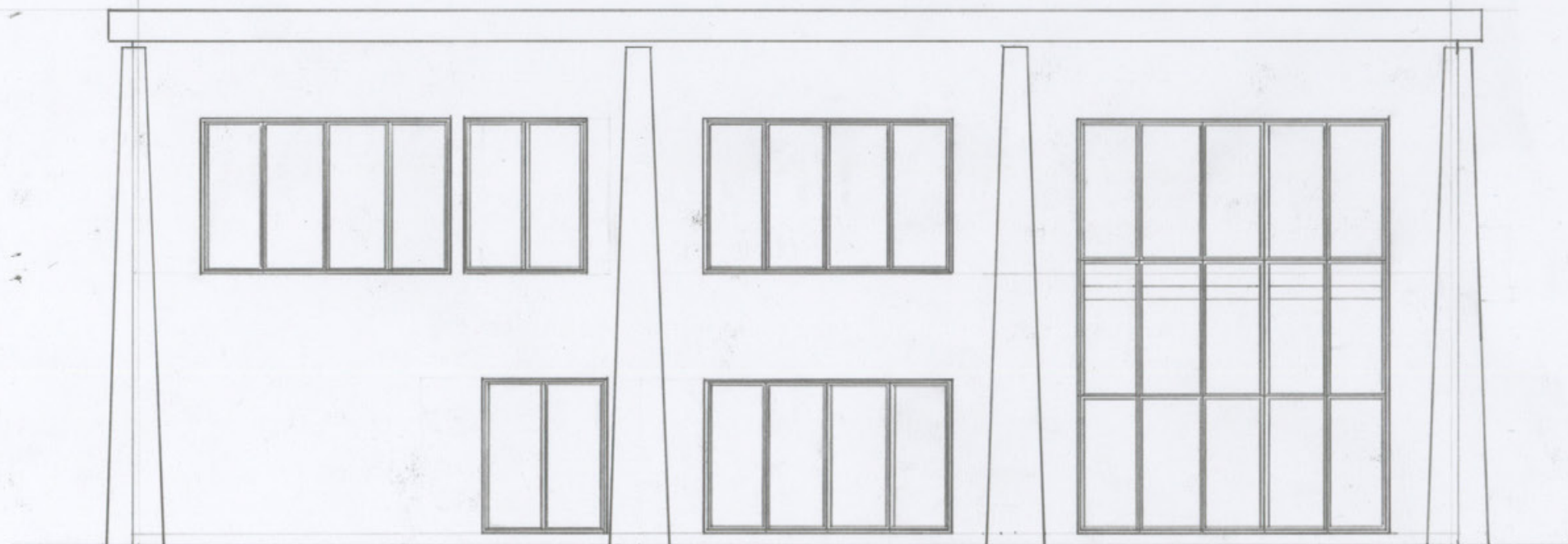
Y-Y'断面図 (S=1/100)



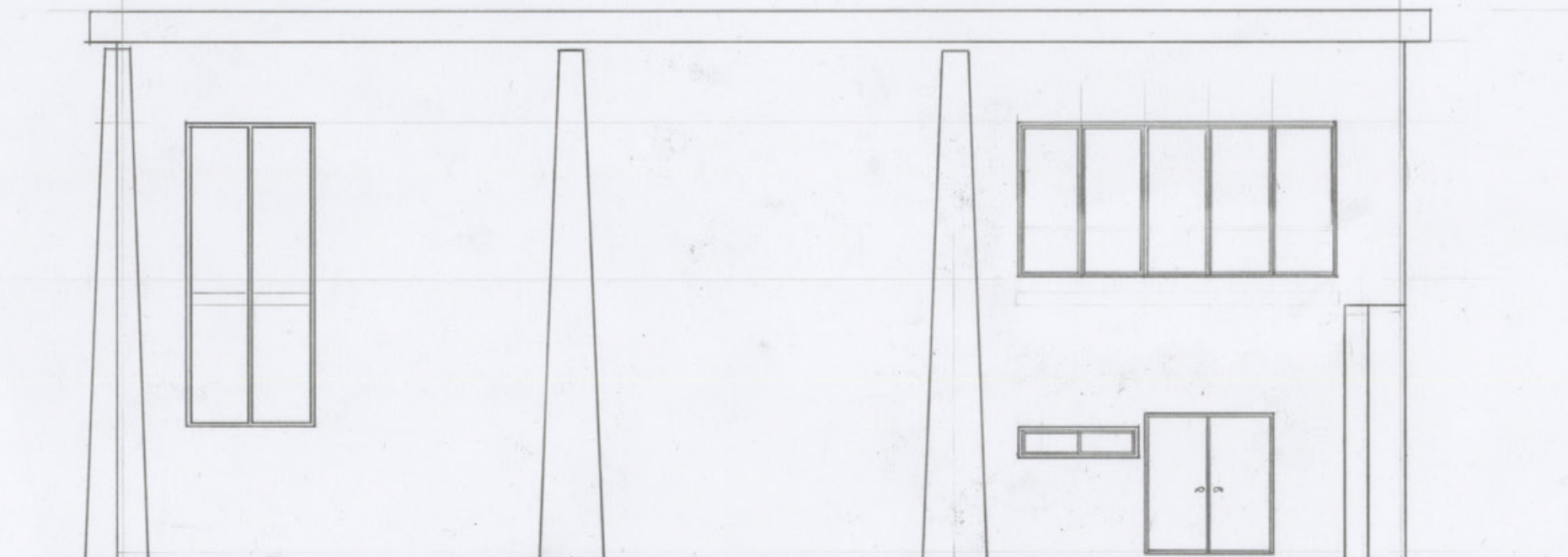
東立面図 S=1/100



北立面図 S=1/100



西立面図 S=1/100



南立面図 S=1/100